

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

# 入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8114

件名	美化センター外装改修工事	
履行場所	海老名市杉久保北一丁目4番1号	
工期	令和8年6月4日～令和8年12月11日(191日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	44,429,000 円 (税込)	40,390,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格(70%)未満の場合 ※ただし、予定価格(税込)100万円以下の案件は除く。	<b>契約締結にあたっての制限等</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B(75点)」以上である場合は除く。</li><li>○ 技術者及び現場代理人の他案件(本市入札案件)との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可</li><li>○ 前払金の制限(金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の20%以内(海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限りませう。) ※前払金の上限金額は5,000万円以下。中間前払金の支払いはありません。</li></ul> <b>契約保証</b> <p>契約金額の30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 金融機関又は保証事業会社の保証</li><li>(イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド)</li><li>(ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)</li></ul>	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAXで受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	020 建築一式 又は 170 塗装 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築一式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第4区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く 本市発注の建築一式工事又は塗装工事において、過去5年間、工事評定で65点未満の工事がないこと。	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について	本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し		

	<p><u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u></p> <p>(2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し</p> <p>(3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書</p>
<p><b>入札時提出</b> <b>(システム添付)</b></p>	<p><b>○入札金額積算内訳書</b></p> <p>別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u></p>
<p><b>落札候補者が提出する書類</b> <b>(FAX046-232-6574)</b></p>	<p>開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○配置技術者等に関する書類</li> <li>○建設業許可の確認できる書類</li> </ul>

# 美化センター外装改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市


1. 工 事 名 称 美化センター外装改修工事
2. 工 事 場 所 海老名市杉久保北一丁目4番1号
3. 工 事 概 要 美化センター事務所棟の外壁塗装、防水改修工事等を行うもの。  
 ■ 設計概要
  1. 外壁改修工事 劣化部補修のうえ塗装改修
  2. 防水改修工事 屋根、庇、目地・建具・ガラス廻りシーリングほか
  3. 塗装改修工事 屋外階段、受水槽、キュービクルほか
  4. 建具改修工事 排煙オペレーター更新ほか
  5. 電気設備工事 外部照明LED化ほか

その他上記工事に伴う付帯工事等一式
4. 工 事 期 間 令和8年6月4日 から 令和8年12月11日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
 

(1) 設 計 図 .....	21 枚
(2) 内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) .....	6 枚
6. 数 量 書 (1) 数 量 書 ..... 17 枚  
 ※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
<b>(1)事業区分</b>			
①事業区分	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単事業		
<b>(2)工事監理体制</b>			
②工事監理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 市担当者 <input type="checkbox"/> 外部委託者		
<b>(3)工程関係</b>			
①工期内施設利用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		安全対策を施し、各関係者の安全確保を図ること
②関連工事、 その他工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
③施工時期の制限	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		日曜、祝日は原則休工とする
④施工時間の制限	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		施設運営に支障のないよう留意すること
⑤協議未成立事項	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

項目	適用	内容等	備考
<b>(4) 仮設関係</b>			
① 仮設計画	■ 有 □ 無	図示 (仮設計画図による)	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
② 交通誘導員	■ 有 □ 無		
③ 工食用電力、水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	
④ 濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
<b>(5) 支給品</b>			
① 支給品について	□ 有 ■ 無		
<b>(6) 建設副産物関係</b>			
① 建設発生土	□ 有 ■ 無		
② 建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無		
③ その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
<b>(7) 各種調査、使用制限</b>			
① 各種調査	■ 有 □ 無	特記仕様書による	
② 使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)
<b>(8) 現場対応</b>			
① 現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること		
② 公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③ 原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
<b>(9) その他</b>			
① 適用基準等	■ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」適用図書による □ □ □		
② 工事完成図書	■ 海老名市ホームページ-検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページ-営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③ 海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④ 法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること		
⑤ 使用単価	令和8年3月の公共工事設計労務単価を適用して積算している		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

**環境要素一覧表**

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・ 景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等
②埋蔵文化財		
(6)景観	①その土地の現在の景観	
	②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観	
	③道路等、都市基盤施設がもたらす景観	
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
③土木工事により影響を受ける地下水		
(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面	
(5)建設副産物	①排出土	
	②コンクリートガラ	
	③アスファルトガラ	
	④伐採材	
	⑤まだ使用可能な製品	
	⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず	
⑦不要木材		
⑧PCB等の毒性物質		
⑨その他の建設廃材		
(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源	
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音
		②工事用車両走行による騒音
		③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動
	②工事用車両走行による振動	
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響	
(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境	
	②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断	
	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境	
	④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性	
	⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性	

□ 設計・施工時に配慮する事項

### 3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

## 6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のもを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

## 7. 電気設備工事

作業	配慮事項	環境要素
電気設備	省エネ型機器を採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	P C B等の適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和8年度

# 数量書

工事名称 美化センター外装改修工事

工事場所 海老名市杉久保北一丁目4番1号

工期 令和8年6月4日から令和8年12月11日まで

工事概要 美化センター事務所棟の外壁塗装、防水改修工事等を行うもの。

■ 設計概要

1. 外壁改修工事 劣化部補修のうえ塗装改修
2. 防水改修工事 屋根、庇、目地・建具・ガラス廻りシーリングほか
3. 塗装改修工事 屋外階段、受水槽、キュービクルほか
4. 建具改修工事 排煙オペレーター更新ほか
5. 電気設備工事 外部照明LED化ほか

その他上記工事に伴う付帯工事等一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		























美化センター外装改修工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【養生】		1	式			別紙 00-0001
(外部)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	375	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)		201	m <sup>2</sup>			
計						
【整理清掃 後片付け】		1	式			別紙 00-0002
(外部)						
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	375	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)		201	m <sup>2</sup>			
計						

建築工事 別紙明細

美化センター外装改修工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【外部足場】		1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用105日 賃料 修理費含む	868	m <sup>2</sup>			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用105日 賃料 修理費含む	100	m			
荷揚げ資材仮置き ステージ足場	供用105日 賃料 修理費含む	24.3	m <sup>2</sup>			
安全手すり (ステージ足場)	供用105日 賃料 修理費含む	14.4	m			
脚立足場	供用30日 賃料 修理費含む	8.9	m <sup>2</sup>			
計						
【災害防止】		1	式			別紙 00-0004
養生防護棚 (直線部)	枠組本足場用 供用105日 賃料 修理費含む	10.4	m			
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 供用105日 賃料 修理費含む	868	m <sup>2</sup>			
小幅ネット張り	防災ボ リエステル 供用105日 賃料 修理費含む	201	m			
計						

美化センター外装改修工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【仮設材運搬】		1	式			別紙 00-0005
(外部)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	868	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	100	m			
仮設材運搬 (棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	24.3	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	14.4	m			
仮設材運搬 (脚立足場)	平家建	8.9	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (養生防護棚)	枠組本足場用	10.4	m			
仮設材運搬 (シート・初類)		868	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (小幅初)		201	m			
計						
【施工数量調査】		1	式			別紙 00-0006
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	563	m <sup>2</sup>			
計						

建築工事 別紙明細

美化センター外装改修工事		建具				
		アルミニウム製建具				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排煙ハレター修繕		1	式			別紙 00-0007
埋込 1連		12	か所			
埋込 2連		2	か所			
埋込 3連		6	か所			
計						
網戸張替え	ステンレス網張替え	1	式			別紙 00-0008
AW-4	W790×H1, 670	2	か所			
AW-5・6・7	W760×H780	22	か所			
AW-8	W760×H1, 100、W760×H490	2	か所			
運搬費		2	台			
現場 取外し・取付費		1	式			
計						

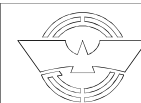




# 美化センター外装改修工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
No. A - 00	表紙・図面リスト	No. A - 16	建具表(2)
No. A - 01	特記仕様書(1)	No. A - 17	屋根改修 詳細図
No. A - 02	特記仕様書(2)	No. A - 18	外壁改修 詳細図
No. A - 03	特記仕様書(3)	No. A - 19	雑詳細図
No. A - 04	特記仕様書(4)	No. A - 20	仮設計画図(参考)
No. A - 05	案内図・配置図		
No. A - 06	特記事項・外壁改修内容一覧表		
No. A - 07	既存改修 1階平面図		
No. A - 08	既存改修 2階平面図		
No. A - 09	既存改修 屋根伏せ図		
No. A - 10	既存改修 西側立面図		
No. A - 11	既存改修 東側立面図		
No. A - 12	既存改修 南側・北側立面図		
No. A - 13	既存改修 断面図		
No. A - 14	キープラン表		
No. A - 15	建具表(1)		



特記仕様書	
I 工事概要	
1 工事番号・名称	美化センター外装改修工事
2 工事場所	美化センター 海老名市杉久保北一丁目4番1号
3 用途地域等	都市計画区域(○内・外)用途地域(指定なし) 防火地域等(・防火・準防火○指定なし○22条) その他の地域・地区( )
4 主要用途	事務所
5 延床面積	728.28 m <sup>2</sup>
6 工事の概要	『美化センターの経年劣化に伴う改修工事を行うもの』
7 別途工事	
8 その他	
9 特記仕様書の範囲	特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・機械設備改修工事特記仕様書 ・電気設備改修工事特記仕様書

II 建築工事仕様	
1. 共通仕様	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。))及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。))による。 なお、その他施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。
2. 特記仕様	1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2)特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3)特記事項に記載の( )、< >及び[ ]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1	一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
2	適用基準等	○ 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官房営繕部監修 最新版) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房営繕部監修 最新版) ○ 海老名市公共工事共通事項書
3	工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
4	発生材の処理等	・ 適用しない 発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの( ) ・ 特別管理産業廃棄物( ) 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの( ) ・ 再生資源化を図るもの 種類 受入施設名 所在地(Km) 備考 ・ コンクリート塊 ・ アスファルト コンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ コンクリートか ら成る建設資材
		・ その他の廃棄物(安定型) 種類 受入施設名 所在地(Km) 備考 ・ アスベスト含有 成形板等

・その他の廃棄物(管理型)			
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること			
PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器	・有 ・無		[5.4.3]
PCB含有シーリング材	・有 ・無		[5.4.4]
PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。			
アスベストの処理			
吹き付けアスベスト除去工事		・有(図示)	・無
受け入れ施設名・所在地(km)		・有(図示)	・無
アスベスト含有保温材除去工事		・有(図示)	・無
受け入れ施設名・所在地(km)		・有(図示)	・無
アスベスト成形板除去工事		・有(図示)	・無
受け入れ施設名・所在地(km)		・有(図示)	・無
ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理			
ヒ素又はカドミウムボード		・有(図示)	・無
5. 電気保安			
6. 事故報告			
7. 建築材料等			
	・ 適用する ※ 適用しない		<1.3.3>
	工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 材料の品質等		<1.4.2>
	※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。		<1.4.1>
	環境への配慮 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。		<1.4.1>
	※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合 該当する建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用		<1.7.9> (1.5.9)
8. 室内の空気中の化学物質濃度の測定			
	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 μg/m <sup>3</sup> ・0.08ppm) ※ スチレン (濃度指針値 220 μg/m <sup>3</sup> ・0.05ppm) ※ トルエン (濃度指針値 260 μg/m <sup>3</sup> ・0.07ppm) ※ エチルベンゼン(濃度指針値 370 μg/m <sup>3</sup> ・0.085ppm) ※ キシレン (濃度指針値 200 μg/m <sup>3</sup> ・0.05ppm) ※ ハンククロペンゼン(濃度指針値 240 μg/m <sup>3</sup> ・0.04ppm)		
	測定する室等:(各階1か所 事前事後)		
	採取方法:吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) ・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器		
	測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。		
	・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定か所等については、別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。		
9. 特別な材料の工法			
	「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。		

10. 建築基準法による風圧力等の指定	<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)		
	適用工事	建築基準法の指定	
	・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※34	
	・ アルミニウム笠木	○ 金属屋根葺	○ Ⅱ
	・ 折板屋根葺	・ ガラスブロック	○ Ⅲ
		多雪地域の指定	・有 ○ 無
11. 設計GL			
12. 施工調査			
	※ 図示	・ 現状平均地盤高	
	施工数量調査	<1.6.2>	
	・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。	<1.6.3>	
	調査項目	調査範囲	調査方法
	外壁	全面	目視・打影
13. 技能士			
	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。		<1.7.2>
	工事種目	技能検定職種(技能検定作業)	
	以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	
	仮設工事	・ とび(とび作業)	
	防水改修工事	・ 防水施工(・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート防水工作業 ・FRP防水工作業)	
	外壁改修工事	・ 左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工作業) ・ 塗装(建築塗装作業)	
	建具改修工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)	
	内装改修工事	・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーベット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ作業 ・鋼製下地工作業)	
	塗装改修工事	・ 表装(壁装作業) ・ 塗装(建築塗装作業)	
	耐震改修工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工作業) ・とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)	
	コンクリートブロック/ALCパネル 骨造成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工作業)	
	石工事	・ 石材施工(石張り作業)	
	排水工事	・ 配管(建築配管作業)	
	舗装工事	・ 路面表示施工(・溶融ヘイトラッドマーカ工作業 ・ 加熱ヘイトラッドマーカ作業)	
	植栽工事	・ 造園(造園工作業)	
	屋根及びびとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工作業)	
14. 完成時提出書類			
	※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図(検査後提出)	3部	
	※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類	1式	
	※ 建築物等の維持・保全に関する資料(検査後提出)	1式	
	※ その他監督職員が指示したもの	1式	
15. 工事写真			
	※ 作成する 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。		
16. 設備工事との取合い			
	施工範囲 各工事図面による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。		
17. 火災保険等			
	工事的目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事的物引き渡し日まで		

2	① 仮囲い	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ○カーフェンス(H=1800) ・ 波形鉄板(H= ) ・ シートゲート(H= , W= )× 箇所	・ 設けない	
	② 交通誘導員	※ 配置する	・ 配置しない	
	③ 工事表示板	※ 設置する	・ 設置しない	
	④ 足場その他	※ 脚立、足場板等	・ 枠組棚足場	<2.2.1>
		防護シート	○ 設ける	・ 設けない
		材料の運搬	・ A種	・ B種
			・ C種	<表2.2.2>
			・ D種	
			・ E種	
		足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。		
	5. 養生	家具の移動	・ 行う(図示)	・ 行わない
		既存プラインド・カーテン等の養生及び保管	・ 行う	<2.3.1>
		養生の方法 保管場所		
	6. 仮設間仕切り	・ 設ける(図示)	・ A種	・ B種
			※ C種	<2.3.2><表2.3.1>
	7. 監督職員事務所	※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する)		<2.4.1>
		・ 設ける(規模 m <sup>2</sup> 程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否) 備品(		
	⑧ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償)	※ 利用できない	
	⑨ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償)	※ 利用できない	
	⑩ 工事用通路	※ 指定しない ○ 指定する(図示)		
	11. その他仮設			
3	1. アスファルト 防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3~10> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所		
		・ E-1		
		アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示製製品 ※3種		<3.2.2>
		脱気装置	・ 設ける	・ 設けない
		種類	・ 平面部脱気型	・ 立ち上がり部脱気型
		施工業者	防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.3.3>
	2. 伸縮調整目地	※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製)		<3.3.2><3.3.5>
	3. 改質アス ファルト シート防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1~2> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料		
			・ AS-T	※ カラー
			・ AS-J	・ シルバー
			・ ASI-	
		脱気装置	・ 設ける	・ 設けない
		種類	・ 平面部脱気型	・ 立ち上がり部脱気型
		施工業者	防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.4.3>
	4. 合成高分子系 ルーフィング シート防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料		
			・ S-F2	※ カラー
			・ S-M2	・ シルバー
			・ SI-	
		脱気装置	・ 設ける	・ 設けない
		種類	・ 平面部脱気型	・ 立ち上がり部脱気型
		施工業者	防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.5.3>
	5. 塗膜防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1> 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料		
			・ X-1	※ カラー
			・ X-2	・ シルバー
			・ Y-2	
		○透明塗膜防水 アクリルシリコン樹脂透明塗膜防水		
		脱気装置	・ 設ける	・ 設けない
		種類	・ 平面部脱気型	・ 立ち上がり部脱気型
		施工業者	防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.6.3>
	6. シーリング 材料の種別 及び施工箇所	※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料		<3.7.2><表3.7.1>
		<表3.7.1>によらない箇所	シーリング材料	
	7. シーリング 改修工法	改修工法の種別 <3.1.4><3.7.4><表3.1.2><表3.1.2> 改修工法の種類 施工箇所		
		○シーリング充てん工法	金属屋根取合い	
		○シーリング再充てん工法	板間・建具取合い	
		・ 拡幅シーリング充てん工法		
		・ プリッジ工法( )		
	8. とい	<3.8.2><表3.8.1><表3.8.3~4>		
		材 種 防 露		
		・ 配管用鋼管(SGP)	※ <表3.8.3~4>により行う	
		○硬質塩化ビニル管(VP)		
		特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。		<3.8.3><表3.8.4>
		鋼管製といの防護巻き		<3.8.3><表3.8.4>
		※ <表3.8.5>による。		

工事件名：美化センター外装改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書(1)

縮尺

NO SCALE

図面番号

A-01

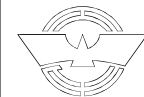
⑨ ルーフ ドレイン 10. アルミニウム 製笠木	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種			
	<3.8.2><表3.8.2> <3.9.2><表3.9.1> <3.9.2><表5.2.2>			
⑩. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、施工業者との連名の保証書を提出する。 塗膜防水及びウレタン系塗布防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間として、作成し提出する。			
4 外壁 改修 工事	1. ひび割れ部 改修			
	・ コンクリート打放し仕上げ <4.2.4~6>			
	工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)
	※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
	※ リカットシール 材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
		・ シーリング材PU-2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満 ~ 未満	
	・ モルタル塗り仕上げ <4.3.5~7>			
	工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)
	※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		
※ リカットシール 材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		
	・ シーリング材PU-2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満 ~ 未満		
・ タイル張り仕上げ <4.5.5~8><4.5.16>				
工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満		
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		
※ タイル貼り 除去後 ・ リカットシール 材充てん工法 ・ 樹脂注入工法の上 タイル 張替え工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		
	・ シーリング材PU-2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満 ~ 未満		
・ タイル部分 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル ・ エポキシ樹脂			
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製適合目地材			
・ 樹脂注入工法 <4.3.4(c)>				
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下	
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度	
注 入 量 (cc/m)				
コアの抜き取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>				
2. 欠損部改修				
・ コンクリート打放し仕上げ <4.2.7>				
工 法	材 料	平均深さ(mm)	延べ面積(m <sup>2</sup> )	
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満		
	ポリマーセメント モルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満		
・ モルタル塗り仕上げ <4.3.8~9>				
工 法	材 料	平均深さ(mm)	延べ面積(m <sup>2</sup> )	
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満		
	ポリマーセメント モルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満		
・ モルタル 塗替え工法	・ <表4.4.1>による 20程度 5下地25程度			
	・ ポリマーセメント モルタル			
・ タイル張り仕上げ <4.4.7~8>				
工 法	材 料	平均深さ(mm)	延べ面積(m <sup>2</sup> )	
※ タイル部分 張替え工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満		
	ポリマーセメント モルタル	10~15未満 15~20未満 ~		
・ タイル 張替え工法				

3. 浮き部改修					
・ モルタル塗り仕上げ <4.3.4><4.3.9~13>					
工 法	1箇所 の面積 (m <sup>2</sup> )	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m <sup>2</sup> ) 一般部 指定部	注入口 (箇/m <sup>2</sup> ) 一般部 指定部	延べ面積 (m <sup>2</sup> ) 一般部 指定部
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		※16・ ※25・		
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13・ ※20・	※12・ ※20・	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 越える	※13・	※12・	
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※20・	※20・	
・注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※9・	※9・	
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 越える	※9・	※9・	
・充てん工法	0.25 未満		※16・	※16・	
・ モルタル塗替え工法					
・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>					
工 法	1箇所 の面積 (m <sup>2</sup> )	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m <sup>2</sup> ) 一般部 指定部	注入口 (箇/m <sup>2</sup> ) 一般部 指定部	延べ面積 (m <sup>2</sup> ) 一般部 指定部
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		※16・ ※25・		
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13・ ※20・	※12・ ※20・	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 越える	※13・	※12・	
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9・		
・注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※9・	※9・	
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 越える	※9・	※9・	
・タイル部分張替え工法	0.25 未満		※16・	※16・	
アンカーピンの材質 <4.2.2> ※ <4.2.2(e)(f)>による。 アンカーピン固定用エポキシ樹脂 <4.2.2(e)(f)> ※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※硬質 高粘度形 注入用エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品					
タイルの種類 <4.5.8><4.6.3>					
施工箇所	形状 寸法 (mm)	き じ 磁器陶器 せつ 器	うわぐすり 施 無 ゆう ゆう	役物 有 無 標準注文 利用 タイル	色 再生材 備 考
	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
タイル張替え工法のタイル張り工法は、<表4.5.3>により、小口タイル以上 二丁掛け以下は密着張りとする。					
<4.5.1><4.5.2><表4.5.1>					
規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	上塗り材	
○薄付け 仕上塗材	○外装薄塗材E ・	○砂壁状 ・砂壁状 じゆらく	※吹付け ・ローラー		
・厚付け 仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材E		※吹付け ・こて		
○複層 仕上塗材	・複層塗材OE ※複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材Si ・複層塗材SE ○防水形 複層塗材E ・防水形 複層塗材RS	・ゆず肌 ・凸凹処理 ・凸凹模様 ○フラット	※吹付け ○ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 ・有機系 ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ※アクリル シリコン系 (可とう形改修用 塗材の場合) ○フッ素系	
・可とう形 改修用 仕上塗材	※可とう形 改修塗材E ・可とう形 改修塗材RE ・可とう形 改修塗材OE	※ゆず肌 ・さざ波	※吹付け ・ローラー		
・軽量骨材 仕上塗材	・吹付用 軽量塗材 ・こて塗用 軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り		
仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形1種 (可とう形改修塗材の場合) ・ 耐候形2種 ※ 耐候形3種 (可とう形改修塗材以外の場合)					

⑥ 壁仕上げ既存 塗膜等の除去 及び下地処理		<4.7.4>	
塗膜の劣化部の除去工法		処 理 範 囲	
○サンダー工法	※ 既存仕上面全体	○ 図示(10~15Mpa程度)	
○ 高圧水洗工法			
・ 塗膜は剥離工法			
・ 水洗い工法			
5. 1. 一般事項		改修工法 <5.1.3>	
・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。			
見本の作成等 <5.1.5>			
製 作	※ 行わない	・ 行う(建具表による)	
仮 組	※ 行わない	・ 行う(建具表による)	
防犯建物部品	※ 使用しない	・ 使用する(建具表による)	
2. アルミニウム 製建具		外部に面する建具 <5.2.2><5.2.4><表5.2.1>	
種 別	耐風圧性	気密性	水密性
・ A 種	S-4	A-3	W-4
・ B 種	S-5		
・ C 種	S-6	A-4	W-5
※ 適用箇所は図示による			
表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 ・ B-2種 内部 建具 ※ C-1種 ・ C-2種			
B-2種、C-2種の場合 ・ブロンズカラー(※標準色 ・濃色) ・ステンカラー			
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3			
断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-2 ・ H-3			
耐震ドアセット、耐震サッシ ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ D-1 ・ D-2			
使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 <5.2.3>			
防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ○ステンレス(SUS 316) ※合成樹脂			
防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線径1.5mm ピッチ15mm			
4. 樹脂製建具 <5.3.2><表5.3.1>			
種 別	耐風圧性	気密性	水密性
・ A 種	S-4		W-4
・ B 種	S-5	A-4	W-5
・ C 種	S-6		
※ 適用箇所は図示による			
防音ドアセット、防音サッシ <5.3.2>			
・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種			
断熱ドアセット、断熱サッシ <表5.3.2>			
・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種			
表面色 <5.3.4>			
・ 標準色(白) ・ 特注色(黒 ・ ブラウン ・ シルバー)			
5. 鋼製建具 <5.4.2><5.4.4><表5.4.2>			
簡易気密型ドアセット <5.4.2><5.4.4><表5.4.2>			
※ 使用する(適用範囲は図示とする)			
気密性 ※ A-3 ・			
水密性 ※ W-1 ・			
・ 使用しない			
外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5			
建具寸法が<5.4.2>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ			
区 分	使用箇所	厚さ (mm)	
窓	枠類	枠 方立、無目	<表5.4.2>に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外 <表5.4.2>に同じ			
標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.3.6>			
6. 鋼製軽量建具 <5.5.2~4><表5.5.1>			
簡易気密型ドアセット <5.5.2~4><表5.5.1>			
※ 使用する(適用箇所は図示による)			
気密性 ※ A-3 ・			
水密性 ※ W-1 ・			
・ 使用しない			
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板			
標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.5.6>			
標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 <5.6.2>			
7. ステンレス製 建具 <5.6.2>			
簡易気密型ドアセット <5.6.2>			
※ 使用する(適用範囲は図示とする)			
気密性 ※ A-3 ・			
水密性 ※ W-1 ・			
・ 使用しない			
外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5			
表面処理 鋼板の曲げ加工			
・ HL ・			
※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ <5.6.4> <5.6.6>			

8. 木製建具 <5.7.2~4>				
建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型 <5.8.2><表5.8.1>				
9. 建具用金物 <5.8.2><表5.8.1>				
金 物 の 種 類	型 式	製 造 所		
モノロック				
本締り付きモノロック				
シリンダー箱錠				
シリンダー本締り錠				
ドアクローザー	パラレル型			
フロアピンジ				
ピンジクローザー	内 蔵 型			
ピボットピンジ		JIS表示認証製品		
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所 とする。		
標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、 シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。				
マスターキーの作成				
・ 要 ・ 不要 ・ 不要(既存マスターキーで施錠可能とする。)				
10. 自動ドア 開閉装置				
性能	・ スライディングドア ・ スイングドア	<5.9.2><表5.9.1~2>		
センサーの種類	・ 光線式(反射)スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ・ 補助センサー併用	<5.9.3><表5.9.4>		
凍結防止装置 全半開装置	・ 要 ※ 不要 ・ 設けない			
11. 重量 シャッター <5.11.2><表5.11.1>				
種 類	シャッター ケース 性能	耐風圧 性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120	※ 上部電動式 (自動閉鎖型) ・ 上部手動式	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	(JIS A 4705に よる 強さの 区分)	※ 上部電動式 (手動併用)	障害物感知装置 (自動閉鎖型)を 設ける。
・ 防煙シャッター				
12. 軽量 シャッター <5.12.2~4><表5.12.1>				
開閉形式	シャッター ケース 性能	耐風圧 性能	スラットの 形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50 ・ 65 ・ 80	※ インター ロック型	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない	・ ・ (JIS A 4705に よる 強さの 区分)	※ オーバー ラッピング型	
13. オーバー ヘッドドア <5.13.2~3>				
材 質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチール タイプ	※ バランス式 ・ チューン式	※ スタン ダード形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ 溶融亜鉛 メッキ鋼板 ・ ステンレス 鋼板
・ アルミニウム タイプ	・ 電動式	・ ロー ヘッド形	・ 100 ・ 125	
・ ファイバー グラスタイプ		・ ハイ リフト形 ・ パーチ カル形	JIS A4715 による強さ の区分)	
保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない <5.14.2><5.14.3>				
14. ガラス <5.14.2><5.14.3>				
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を 有すること。				
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性				
・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類				
強化ガラスの特性				
・ I類 ・ III類				
熱線吸収板ガラス				
性能				
・ 1類 ・ 2類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン				
複層ガラス(LOW-E複層ガラス)				
性能				
・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 (U3-1 ・ U3-2) ・ 4種 ・ 5種				
封止の加速耐久性による区分				
・ I類 ・ II類 ・ III類				
熱線反射ガラス				
日射遮へい性				
耐久性				
色調 ・ 1種 ・ 2種 ・ A類 ・ B類 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ				
反射皮膜				
・ シルバー ・ 内側 ・ 外側 ・ 行う ・ 行わない				

## 工事件名：美化センター外装改修工事



## 海老名市

図面名称

特記仕様書(2)

縮尺

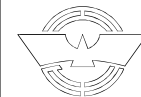
NO SCALE

図面番号

A-02

14. ガラス	<p>ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット(可動アルミ製建具に限る)</p> <p>防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。</p> <p>複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。</p>																																																																																																				
15. ガラスブロック(中空)	<p>表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ) 厚さによる区分</p> <table border="1"> <tr> <td>正方形</td> <td>125×125</td> <td>160×160</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200×200</td> <td>320×320</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>250×125</td> <td>320×160</td> <td>125</td> </tr> </table> <p>品質等</p> <table border="1"> <tr> <td>ガラスの種類</td> <td>柄</td> <td>目地色</td> <td>金属枠</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>・一般ガラス ・乳白ガラス ・カラーガラス ・熱線反射ガラス</td> <td>・無 ・有</td> <td>・白 ・グレー</td> <td>・アルミニウム製(表面処理) ・ステンレス製(表面仕上)</td> <td>・規定しない ・有(分間)</td> </tr> </table>	正方形	125×125	160×160	80		200×200	320×320	95	長方形	250×125	320×160	125	ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能	・一般ガラス ・乳白ガラス ・カラーガラス ・熱線反射ガラス	・無 ・有	・白 ・グレー	・アルミニウム製(表面処理) ・ステンレス製(表面仕上)	・規定しない ・有(分間)																																																																														
正方形	125×125	160×160	80																																																																																																		
	200×200	320×320	95																																																																																																		
長方形	250×125	320×160	125																																																																																																		
ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能																																																																																																	
・一般ガラス ・乳白ガラス ・カラーガラス ・熱線反射ガラス	・無 ・有	・白 ・グレー	・アルミニウム製(表面処理) ・ステンレス製(表面仕上)	・規定しない ・有(分間)																																																																																																	
6 内装改修工事	<p>1. 改修範囲</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲</p> <p>2. 既存床の撤去 ・ 下地補修</p> <p>3. 改修後の床の清掃範囲</p> <p>4. 既存壁の撤去 ・ 下地補修</p> <p>5. 木 材</p> <p>含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種</p> <p>造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種</p> <p>6. 集材材</p> <table border="1"> <tr> <td>見付け材面等級</td> <td>JASによる集材材 ※ 1等 ・ 2等</td> <td>その他 ※ JAS集材材1等同等</td> </tr> <tr> <td>単材の樹種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単材の厚さ(mm)</td> <td>10~15</td> <td>10~15</td> </tr> </table> <p>7. 床張り用合板</p> <p>床下貼り用合板 ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 ・ ( )</p> <p>8. 防霉・防蟻・防虫処理</p> <p>薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理 適用部位( ) 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理を行う。</p> <p>防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1</p> <p>9. 軽量鉄骨天井下地材</p> <p>野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名: ) 屋外 ・ 19型 ※ 25型</p> <p>インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 ※ 行わない</p> <p>耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う(補強方法及補強箇所は図示による)</p> <p>耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない ・ 行う(補強方法及補強箇所は図示による)</p> <p>10. 軽量鉄骨壁下地材</p> <p>スタッド、ランナーなどの種類は〈表6.7.1〉による。</p> <p>11. 体育館の鋼製床下地</p> <p>※ JIS A 6519のJIS表示認証製品</p> <p>12. ビニル床シート張り</p> <p>JIS A5705のJIS表示認証製品</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>記号</td> <td>色柄</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>特殊機能</td> <td>工法</td> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のないもの</td> <td>※FS ・ TS</td> <td>※無地 ・ マーブル</td> <td>※ 2.0 ・ 2.5</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重</td> <td>※熱溶接 ・突付け</td> </tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td> <td>・HS ・KS</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>13. ビニル床タイル張り</p> <p>JIS A5705のJIS表示認証製品</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>記号</td> <td>寸法</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>特殊機能</td> </tr> <tr> <td>※ コンポジションビニル床タイル</td> <td>※ KT</td> <td>※ 300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重</td> </tr> <tr> <td>・ホモジニアスビニル床タイル</td> <td>・ FT</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 2.0</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重</td> </tr> </table> <p>14. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能</p> <p>帯電防止 ・ 帯電防止性能評価(JIS A 1445) 1.2~3.1程度 又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下 ・ 帯電防止性能評価(JIS A 1445) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×10<sup>10</sup>オーム未満 ・ 帯電防止性能評価(JIS A 1445) 5.2以上 又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×10<sup>7</sup>オーム未満</p>	見付け材面等級	JASによる集材材 ※ 1等 ・ 2等	その他 ※ JAS集材材1等同等	単材の樹種			単材の厚さ(mm)	10~15	10~15	種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	※ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	※無地 ・ マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け	・発泡層のあるもの	・HS ・KS	・	・	・	・	種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	※ コンポジションビニル床タイル	※ KT	※ 300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重	・ホモジニアスビニル床タイル	・ FT	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																										
見付け材面等級	JASによる集材材 ※ 1等 ・ 2等	その他 ※ JAS集材材1等同等																																																																																																			
単材の樹種																																																																																																					
単材の厚さ(mm)	10~15	10~15																																																																																																			
種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																																																																																																
※ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	※無地 ・ マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け																																																																																																
・発泡層のあるもの	・HS ・KS	・	・	・	・																																																																																																
種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能																																																																																																	
※ コンポジションビニル床タイル	※ KT	※ 300×300	※ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																																																																	
・ホモジニアスビニル床タイル	・ FT	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																																																																	
15. 視覚障害者用床タイル	耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>寸法(mm)</td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系</td> <td>300×300</td> </tr> </table>	材 質	寸法(mm)	・塩化ビニル系	300×300																																																																																																
材 質	寸法(mm)																																																																																																				
・塩化ビニル系	300×300																																																																																																				
16. ビニル幅木	<p>材 種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接</p> <p>高 さ(mm) ・ 60 ・ 75 ○ 100</p> <p>厚 さ(mm) ・ 1.5 ※ 2.0</p>																																																																																																				
17. カーペット敷き	<p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>パイル形状</td> <td>パイル長さ(mm)</td> <td>工 法</td> <td>品 質</td> <td>帯電性</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※全面接着工法 ・グリッパー工法</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>種 類</td> <td>パイル形状</td> <td>寸 法</td> <td>総厚さ</td> <td>帯電性</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※第1種 ・第2種</td> <td>※ループパイル ・カットパイル</td> <td>※500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	品 質	帯電性	・	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・	・	施工箇所	種 類	パイル形状	寸 法	総厚さ	帯電性	・	※第1種 ・第2種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500	※ 6.5	・																																																																												
施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	品 質	帯電性																																																																																																
・	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・	・																																																																																																
施工箇所	種 類	パイル形状	寸 法	総厚さ	帯電性																																																																																																
・	※第1種 ・第2種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500	※ 6.5	・																																																																																																
18. 合成樹脂塗床	<p>材料の種類</p> <p>・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材)</p> <p>仕上の種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</p> <p>・ 単層フローリング</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>樹種</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>工 法</td> <td>塗 装</td> </tr> <tr> <td>・フローリングボード</td> <td>※ナラ ・カバ</td> <td>※15 幅 75 ・18 長さ500以上</td> <td>※特殊張り工法 ・釘止め工法</td> <td>※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック</td> <td>※ナラ ・</td> <td>※15 303×303</td> <td>・接着工法</td> <td>・オイルステン 塗りの上 ワックス</td> </tr> <tr> <td>・モザイクパーケット</td> <td>※ナラ ・</td> <td>・6 ・8 ・9</td> <td>・モルタル埋込み工法 (体育館床)</td> <td>・生地のまま ワックス ・既塗装品</td> </tr> </table> <p>・ 複層フローリング</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>樹種</td> <td>種別</td> <td>防湿処理</td> <td>工 法</td> <td>塗 装</td> </tr> <tr> <td>※ 複合1種 ・フローリング ・複合2種 ・フローリング ・複合3種 ・フローリング ・大型積層 ・フローリング</td> <td>※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・カバ</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>※行う ※行わ ない</td> <td>・釘止め工法 ・接着工法</td> <td>※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り ・オイルステン 塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品</td> </tr> </table>	種 別	樹種	厚さ(mm)	工 法	塗 装	・フローリングボード	※ナラ ・カバ	※15 幅 75 ・18 長さ500以上	※特殊張り工法 ・釘止め工法	※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り	・フローリングブロック	※ナラ ・	※15 303×303	・接着工法	・オイルステン 塗りの上 ワックス	・モザイクパーケット	※ナラ ・	・6 ・8 ・9	・モルタル埋込み工法 (体育館床)	・生地のまま ワックス ・既塗装品	種 別	樹種	種別	防湿処理	工 法	塗 装	※ 複合1種 ・フローリング ・複合2種 ・フローリング ・複合3種 ・フローリング ・大型積層 ・フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・カバ	・A種 ・B種 ※C種	※行う ※行わ ない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り ・オイルステン 塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品																																																																				
種 別	樹種	厚さ(mm)	工 法	塗 装																																																																																																	
・フローリングボード	※ナラ ・カバ	※15 幅 75 ・18 長さ500以上	※特殊張り工法 ・釘止め工法	※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り																																																																																																	
・フローリングブロック	※ナラ ・	※15 303×303	・接着工法	・オイルステン 塗りの上 ワックス																																																																																																	
・モザイクパーケット	※ナラ ・	・6 ・8 ・9	・モルタル埋込み工法 (体育館床)	・生地のまま ワックス ・既塗装品																																																																																																	
種 別	樹種	種別	防湿処理	工 法	塗 装																																																																																																
※ 複合1種 ・フローリング ・複合2種 ・フローリング ・複合3種 ・フローリング ・大型積層 ・フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・カバ	・A種 ・B種 ※C種	※行う ※行わ ない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り ・オイルステン 塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品																																																																																																
19. フローリング張り	<p>・ 複層フローリング</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>樹種</td> <td>種別</td> <td>防湿処理</td> <td>工 法</td> <td>塗 装</td> </tr> <tr> <td>※ 複合1種 ・フローリング ・複合2種 ・フローリング ・複合3種 ・フローリング ・大型積層 ・フローリング</td> <td>※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・カバ</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>※行う ※行わ ない</td> <td>・釘止め工法 ・接着工法</td> <td>※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り ・オイルステン 塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品</td> </tr> </table>	種 別	樹種	種別	防湿処理	工 法	塗 装	※ 複合1種 ・フローリング ・複合2種 ・フローリング ・複合3種 ・フローリング ・大型積層 ・フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・カバ	・A種 ・B種 ※C種	※行う ※行わ ない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り ・オイルステン 塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品																																																																																								
種 別	樹種	種別	防湿処理	工 法	塗 装																																																																																																
※ 複合1種 ・フローリング ・複合2種 ・フローリング ・複合3種 ・フローリング ・大型積層 ・フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・カバ	・A種 ・B種 ※C種	※行う ※行わ ない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ・ワニス塗り ・オイルステン 塗りの上 ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品																																																																																																
20. 畳敷き	<p>畳の種類</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p>																																																																																																				
21. 石こうボード張り	<p>種類又は記号</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>種別</td> <td>厚 さ(mm)</td> <td>規格番号</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK</td> <td>壁</td> <td>・ 6(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)</td> <td>JIS A 5430 (タイプ2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井</td> <td>・ 6(不燃) ・ 12(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(吸音材料) GW-B</td> <td>壁</td> <td>25(不燃)</td> <td>JIS A 6301 (32K)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール化粧吸音板(吸音材料) DR</td> <td>※ 内部用 ・ 軒天用</td> <td>普通 ・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)</td> <td>JIS A 6301</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード(せっこうボード製品) GB-R</td> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(せっこうボード製品) GB-S</td> <td>壁</td> <td>○12.5(準不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-NC</td> <td>トラバーチン模様色 ※白 ・黄</td> <td>○9.5(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-D</td> <td>木目模様(裏襷付き) 特殊模様</td> <td>壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> </table> <p>せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ・ 突き付けV目地工法 ・ 突き付け工法 ・ 目透し工法</p>	種類	種別	厚 さ(mm)	規格番号	けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK	壁	・ 6(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)		グラスウール吸音ボード(吸音材料) GW-B	壁	25(不燃)	JIS A 6301 (32K)	ロックウール化粧吸音板(吸音材料) DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通 ・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	JIS A 6301	せっこうボード(せっこうボード製品) GB-R	壁	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)		シーリングせっこうボード(せっこうボード製品) GB-S	壁	○12.5(準不燃)	JIS A 6901		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)		化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-NC	トラバーチン模様色 ※白 ・黄	○9.5(不燃)	JIS A 6901	化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-D	木目模様(裏襷付き) 特殊模様	壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	JIS A 6901																																																								
種類	種別	厚 さ(mm)	規格番号																																																																																																		
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK	壁	・ 6(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)																																																																																																		
	天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)																																																																																																			
グラスウール吸音ボード(吸音材料) GW-B	壁	25(不燃)	JIS A 6301 (32K)																																																																																																		
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通 ・ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	JIS A 6301																																																																																																		
せっこうボード(せっこうボード製品) GB-R	壁	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
	天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																			
シーリングせっこうボード(せっこうボード製品) GB-S	壁	○12.5(準不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
	天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																			
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-NC	トラバーチン模様色 ※白 ・黄	○9.5(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) GB-D	木目模様(裏襷付き) 特殊模様	壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
22. 遮音シール材	<p>・ アクリル系シーリング材</p> <table border="1"> <tr> <td>施 工 箇 所</td> <td>品 質</td> <td>防火性能の級別</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他</td> </tr> </table>	施 工 箇 所	品 質	防火性能の級別	・	・	・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他																																																																																														
施 工 箇 所	品 質	防火性能の級別																																																																																																			
・	・	・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他 ・不燃・準不燃・その他																																																																																																			
23. タイル張り	<p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>形状寸法(mm)</td> <td>き じ</td> <td>う 薬</td> <td>役 物</td> <td>色</td> <td>再生材</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う</p> <p>内装タイルの工法 ・ 積上げ張り 施工箇所( ) ・ 接着剤張り 施工箇所( )</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	き じ	う 薬	役 物	色	再生材	備考	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																				
施工箇所	形状寸法(mm)	き じ	う 薬	役 物	色	再生材	備考																																																																																														
・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																														
24. セルフレベルング材塗り	<p>種別 ・ 石こう系 ○ セメント系</p> <p>塗厚 ※ 10mm</p>																																																																																																				
7 塗装改修工事	<p>1. 防火材料</p> <p>※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。( )</p> <p>② 錆止め塗料塗り</p> <table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)</td> <td>※A種 ※B種 ※E種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種(◎の場合)</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種・B種・C種</td> <td>※A種・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種(◎の場合)</td> </tr> </table> <p>3. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</p> <table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種(外部) ※B種(内部)・C種</td> <td>※1種 ※2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種・B種・C種</td> <td>※1種 ※2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種</td> </tr> </table> <p>4. 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</p> <table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種・B種・C種</td> <td>※1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種・B種・C種</td> <td>※1種 ※2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種</td> </tr> </table> <p>5. 耐候性塗料塗り(DP)</p> <table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種・B種・C種</td> <td>◎1級 ◎2級 ◎3級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種・RB種・RC種</td> <td>※A種・B種・C種</td> <td>◎1級 ◎2級 ◎3級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td> <td>◎A種 ◎B種 ◎C種</td> <td>◎D種</td> </tr> </table> <p>6. FRP製受水槽塗装防露遮光塗料</p> <p>○超低汚染形ターベン可溶アクリルシリコン樹脂塗料仕上、下地RC種(塗替え面)</p>	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種 ※E種		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種(◎の場合)	垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※A種・B種 ※C種		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種(◎の場合)	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種(外部) ※B種(内部)・C種	※1種 ※2種		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種	垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※1種 ※2種		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※1種		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種	垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※1種 ※2種		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	◎1級 ◎2級 ◎3級		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種	垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	◎1級 ◎2級 ◎3級		塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種
下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																																																																	
鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種 ※E種																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種(◎の場合)																																																																																																	
垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※A種・B種 ※C種																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種(◎の場合)																																																																																																	
下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																																																																	
鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種(外部) ※B種(内部)・C種	※1種 ※2種																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種																																																																																																	
垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※1種 ※2種																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種																																																																																																	
下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																																																																	
鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※1種																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種																																																																																																	
垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	※1種 ※2種																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種																																																																																																	
下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																																																																	
鉄鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	◎1級 ◎2級 ◎3級																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種																																																																																																	
垂鉛めっき鋼面	新 規	※RA種・RB種・RC種	※A種・B種・C種	◎1級 ◎2級 ◎3級																																																																																																	
	塗替え	・RA種 ・RB種 ・RC種	◎A種 ◎B種 ◎C種	◎D種																																																																																																	
8 1 耐震改修工事(鉄筋工事)	<p>1. 鉄筋の種類</p> <table border="1"> <tr> <td>規 格 名 称</td> <td>種類の記号</td> <td>径(mm)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>※ SD295A ※ SD345</td> <td>※ D16以下 ※ D19以上</td> </tr> </table> <p>2. 溶接金網</p> <p>※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 使用箇所( )</p> <p>3. 鉄筋の継手</p> <p>径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手</p> <p>4. 柱の帯筋</p> <p>・ 図示</p> <p>5. 圧接完了後の抜取試験</p> <p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>	規 格 名 称	種類の記号	径(mm)	鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A ※ SD345	※ D16以下 ※ D19以上																																																																																														
規 格 名 称	種類の記号	径(mm)																																																																																																			
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A ※ SD345	※ D16以下 ※ D19以上																																																																																																			
8 2 耐震改修工事(コンクリート工事)	<p>1. 設計基準強度</p> <p>普通コンクリート(N/mm<sup>2</sup>) 設計基準強度 適用箇所</p> <table border="1"> <tr> <td>※ 21</td> <td></td> </tr> </table> <p>2. レディーミクストコンクリート</p> <p>類別 ※ I類 ・ II類</p> <p>3. 打直し仕上げの種類</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>適 用 箇 所</td> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・</td> </tr> </table>	※ 21		種 別	適 用 箇 所	・ A種 ・ B種 ・ C種	・																																																																																														
※ 21																																																																																																					
種 別	適 用 箇 所																																																																																																				
・ A種 ・ B種 ・ C種	・																																																																																																				
8 3 耐震改修工事(その他)	<p>1. グラウト材</p> <p>無収縮モルタル材は、製造所で配合された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>):30以上 コンステンションJ ロット(秒):6~10 乾燥収縮(×10<sup>-3</sup>):</p> <p>2. 構造体用モルタル</p> <p>無収縮モルタル材 圧縮強度及びフロー値( )</p> <p>3. スリットの種類</p> <p>※ 完全スリット ・ 部分スリット</p> <p>4. スリットの充填材</p> <p>耐火材の使用 適用箇所 ※ 図示 ・ 使用しない</p> <p>遮音材の使用 適用箇所 ※ 図示 ・ 使用しない</p>																																																																																																				
8 4 耐震改修工事(その他)	<p>1. 工 法</p> <p>・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手 コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打敷 ・ 圧入工法 ・ 流し込み工法</p> <p>・ 鋼板巻き工法 ・ 帯板巻き付け工法 ・ 連続繊維補強工法 ひび割れ改修工法( )面取りの大きさ(図示 ) 引張強度試験及び付着強度試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>2. 既存部分の撤去</p> <p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・</p>																																																																																																				
8 5 耐震改修工事(その他)	<p>1. グラウト材</p> <p>無収縮モルタル材は、製造所で配合された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>):30以上 コンステンションJ ロット(秒):6~10 乾燥収縮(×10<sup>-3</sup>):</p> <p>2. 構造体用モルタル</p> <p>無収縮モルタル材 圧縮強度及びフロー値( )</p> <p>3. スリットの種類</p> <p>※ 完全スリット ・ 部分スリット</p> <p>4. スリットの充填材</p> <p>耐火材の使用 適用箇所 ※ 図示 ・ 使用しない</p> <p>遮音材の使用 適用箇所 ※ 図示 ・ 使用しない</p>																																																																																																				

工事件名：美化センター外装改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書(3)

縮尺

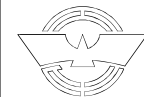
NO SCALE

図面番号

A-03

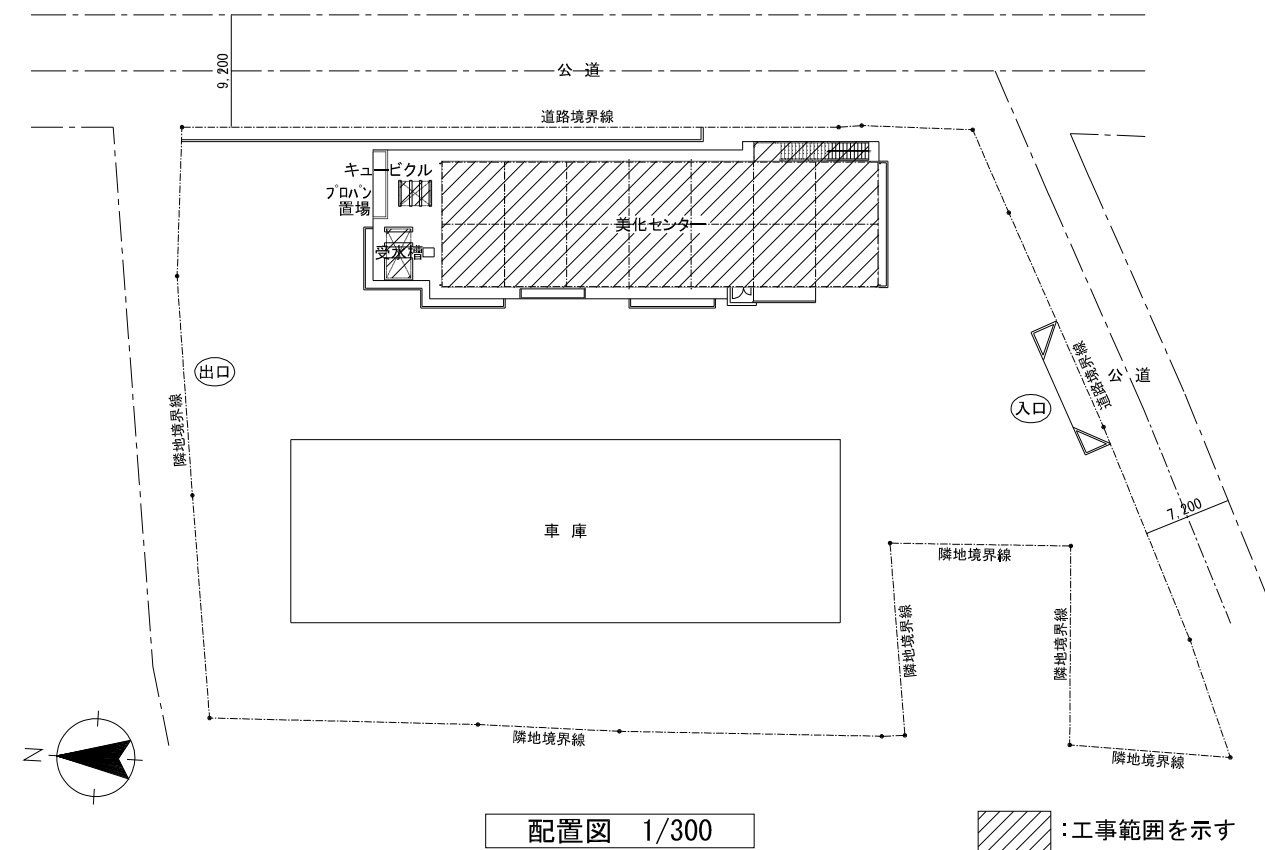
9 1 環境配慮改修工事(石綿含有建材の処理工事)	① 一般事項	<p>石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)以下、「石綿則」という。)を遵守すること。</p> <p>施工調査 &lt;9.1.1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行わない。</li> <li>※ 行う (調査結果は図面に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)</li> </ul> <p>調査箇所 ※ 図示</p> <p>調査事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 石綿含有建材等の使用部位</li> <li>※ 石綿含有建材等の種類、厚さ</li> <li>※ 施工範囲と工事範囲区分</li> <li>※ 廃棄物などの搬出方法</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>石綿含有分析 &lt;9.1.1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行わない</li> <li>・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。)</li> </ul> <p>分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿粉じん濃度測定 &lt;9.1.1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行わない</li> <li>・ 行う(測定する時期・場所等は下表による)</li> </ul> <p>「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部- :光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> <th>室 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内 (注1)</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内 (注1)</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)</td> <td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td>負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)</td> <td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後 シート 撤去前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後 シート 撤去後</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">測定点総計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。</p> <p>(例)石綿粉じん濃度測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定3</th> <th>測定点1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定点5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数計機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td> <td>25mm</td> <td>47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1L/min</td> <td>5L/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5min</td> <td>120min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>幅3µm未満、長さ5µm以上、アスベクト比(長さ/幅)</td> <td>3以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50本/L</td> <td>0.47本/L</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.3本/L</td> </tr> </tbody> </table> <p>記録する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 測定結果</li> <li>イ. 測定時間</li> <li>ウ. 測定位置(測定高さとともに図面に記載する。)</li> <li>エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)</li> <li>オ. マウンティング法</li> <li>カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数</li> <li>キ. 測定時(各測定場所ごと)の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量</li> </ul> <p>測定機関 &lt;9.1.1(e)&gt; 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関</p> <p>施工記録報告書の提出</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施工計画書</li> <li>2. 工事記録及び工事写真</li> <li>3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿)</li> <li>4. 施工調査等記録(条規施工調査、含有分析、粉じん濃度測定等)</li> <li>5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録</li> <li>6. その他必要事項</li> </ol> <p>提出部数 3部作成</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		・(試料数: )	・(試料数: )		・(試料数: )	・(試料数: )		・(試料数: )	・(試料数: )		・(試料数: )	・(試料数: )	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点		測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点		測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定点総計 点					測定3	測定点1, 2, 4, 6, 7, 8	測定点5	数計機器	位相差・分散顕微鏡		メンブレンフィルタの直径	25mm	47mm	試料の吸引流量	1L/min	5L/min	試料の吸引時間	5min	120min	試料の透明化	アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法		計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		計数アスベスト	幅3µm未満、長さ5µm以上、アスベクト比(長さ/幅)	3以上	定量限界	50本/L	0.47本/L			0.3本/L	<p>2. 除去工事 共通事項</p> <p>専門工事業者 &lt;9.1.2&gt;</p> <p>石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。</p> <p>作業主任者の選出 &lt;9.1.2&gt;</p> <p>石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。</p> <p>除去作業者の教育 &lt;9.1.2&gt;</p> <p>作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 &lt;9.1.2&gt;</p> <p>排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。</p> <p>3. 石綿含有吹き付け材の除去 &lt;9.1.3&gt;</p> <p>石綿含有吹き付け材の除去工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲・図示)</li> <li>・ 行わない</li> <li>・ 集塵機付高圧洗浄工法</li> </ul> <p>作業場等の隔離等 &lt;9.1.3&gt;</p> <p>※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。</p> <p>隔離シートの性能</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>※ 床面</td> <td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</td> </tr> <tr> <td>※ 壁面</td> <td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承認を得ること。</p> <p>セキュリティゾーンの設置 &lt;9.1.3&gt;</p> <p>※ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通用</th> <th>室名</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>更衣室</td> <td>※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護用具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗面、うがい設備</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>洗浄室 負圧</td> <td>※ エアシャワー(温水シャワー)</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>前室 負圧</td> <td>・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承認を得ること。</p> <p>除去物及び汚染等 &lt;9.1.3&gt;</p> <p>処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 密封処理(二重袋梱包)</li> <li>※ 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。</li> <li>・ セメント固化</li> </ul> <p>4. 石綿含有保温材等の除去 &lt;9.1.4&gt;</p> <p>石綿含有保温材の除去工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲・図示)</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>養生等 &lt;9.1.4&gt;</p> <p>※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。</p> <p>掻き落とし、破砕、切断による除去方法 &lt;9.1.4(b)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 行わない</li> <li>・ 行う(&lt;9.1.3&gt;「石綿含有吹き付け材の除去」による)</li> </ul> <p>除去工法 &lt;9.1.4(b)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。</li> <li>※ 除去物については&lt;9.1.3(b)&gt;により、密封処理とする。</li> </ul> <p>5. 石綿含有成形板の処理 &lt;9.1.5&gt;</p> <p>石綿含有成形板の除去工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲・図示)</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>養生 &lt;9.1.5&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲・図示)</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>除去工法 &lt;9.1.5&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。</li> <li>※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。</li> <li>※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。</li> </ul> <p>6. 石綿含有仕上塗材の除去 &lt;9.1.6&gt;</p> <p>石綿含有仕上塗材の除去工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲・図示)</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>養生 &lt;9.1.6&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲・図示)</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>除去工法 &lt;9.1.6&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</li> <li>・ 集じん装置併用手工具ケレン方法</li> <li>・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)</li> <li>・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)</li> <li>・ 剥離剤併用超音波ケレン工法</li> <li>・ 剥離剤併用手工具ケレン工法</li> <li>※ 除去物の保管、運搬及び処分は、&lt;9.1.5(3)&gt;による。</li> <li>※ 確認及び後片付けは、&lt;9.1.5(4)&gt;による。</li> <li>※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付きドリルを使用する。</li> </ul>	※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等	通用	室名	状態	※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護用具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗面、うがい設備	※	洗浄室 負圧	※ エアシャワー(温水シャワー)	※	前室 負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご	<p>9 2 環境配慮改修工事(断熱材)</p> <p>1. 断熱材</p> <p>断熱材の打込み及び現場発泡工法 &lt;9.3.1~4&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>箇 所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材)</td> <td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b</td> <td>下記以外</td> <td>※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>※A種押出法 3種b (スキム層付き)</td> <td>接合部分及び屋根防水部分 ピット内部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材</td> <td>※A種</td> <td></td> <td>JIS A 9511の JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・吹付け硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>※A種1</td> <td>※ 20</td> <td>JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。</p> <p>上記以外に用いる断熱材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>箇 所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ JISA発泡プラスチック保温材</td> <td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b</td> <td>下記以外</td> <td>※ 25 JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール保温材</td> <td>※A種押出法 3種b (スキム層付き)</td> <td>接合部分及び屋根防水部分 ピット内部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート</td> <td></td> <td>※ 100</td> <td>※ 24K品</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)</p> <p>10 土 工 事</p> <p>1. 埋戻し及び盛土の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 種</li> <li>※ B 種</li> <li>・ C 種</li> <li>・ D 種</li> </ul> <p>(3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>2. 建設発生土の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構外に搬出し適切に処理する。</li> <li>・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所(km)</li> <li>・ 構内指示の場所に敷きならす。</li> <li>・ 構内指示の場所にたい積する。</li> </ul> <p>11 コンパネクリート押出成形セメント板工事</p> <p>1. コンクリートブロック塀壁及び塀</p> <p>ブロックの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 空洞ブロック 16</li> </ul> <p>(ただし、設備配管用表積等は空洞ブロック08とすることができる。)</p> <p>② 押出成形セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)</li> </ul> <p>12 舗 装 工 事</p> <p>1. 再生材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 使用する</li> <li>・ 使用しない</li> </ul> <p>(22.1.3)</p> <p>2. 盛土材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A種 ※B種 ・C種 ・D種</li> </ul> <p>(22.2.3)</p> <p>3. フィルター層及び凍上抑制層用材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ フィルター層</li> <li>※ 凍上抑制層</li> <li>※ 再生クラッシュラン</li> <li>・ 切込砂利又は切込砕石</li> </ul> <p>(22.2.3)</p> <p>4. 路床土の支持力比(CBR)試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 行わない</li> <li>・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土)</li> </ul> <p>(22.2.5)</p> <p>5. 路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 行わない</li> <li>・ 行う</li> </ul> <p>(22.2.5)</p> <p>6. 路盤材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 再生クラッシュラン RC-40</li> </ul> <p>(22.3.3)(表22.3.1)</p> <p>7. アスファルト舗装</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表 層</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 密粒度アスファルト混合物(13F)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>8. コンクリート舗装</p> <p>早強セメント 使用しない ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ・ なし</p> <p>(22.5.3)</p> <p>9. ブロック系舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリート平板 ※ t60</li> </ul> <p>(22.8.3)</p> <p>10. 縁石及び側溝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターロッキングブロック舗装 ・t80(曲げ強度5.0N/m<sup>2</sup>) ( )</li> <li>・ 鋪石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装</li> <li>・ アスファルト舗装</li> </ul> <p>11. 砂利敷き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A種(通路) ※ B種(建物周辺)</li> <li>※ 3種1号白</li> </ul> <p>(22.9.2)</p> <p>12. 区 画 線</p> <p>13 ユ ニ ッ ト 及 ビ そ の 他 の 工 事</p> <p>1. フリーアクセスフロア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>工 法</th> <th>仕上り高 (mm)</th> <th>適用地震時 水平力(Ks)</th> <th>耐荷重性能 (N)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・清工法 (置敷工法)</td> <td></td> <td>・ 1.0G ※ 0.6G</td> <td>・ 3,000 ・ 5,000</td> <td>・ 帯電防止 床タイル ・タイル カーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(20.2.2)</p> <p>ボーダー部 ※ 一般部分の仕様準ずる。床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。配線取出し用切り欠きパネルは1枚/m<sup>2</sup>以上とする。空洞用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有り(※固定式 ・可変式)</li> <li>・ 無し</li> </ul> <p>施工箇所は図示</p> <p>2. 可動間仕切(パーテーション)</p> <p>構造形式による種類 スタッド式密閉形</p> <p>構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系</p> <p>パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色)t=0.5以上</p> <p>遮音性 36dB以上</p> <p>防火性能 不燃</p> <p>(20.2.3)</p> <p>3. 移動間仕切(スライディングドア)</p> <p>パネルの操作方法による種類 規定しない</p> <p>パネル表面材の材質及び仕上げ パネルの仕様(標準色)</p> <p>t=0.5以上</p> <p>パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式</p> <p>遮音性 36dB以上</p> <p>防火性能 不燃</p> <p>取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による</p> <p>(20.2.4)</p> <p>4. トイレブース</p> <p>表面材 メラミン化粧板(標準色)</p> <p>幅 木 ステンレス製 H=60</p> <p>フレーム アルミ製</p> <p>扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ、帽子掛け戸当たり付き</p> <p>(20.2.5)</p> <p>5. 階段滑り止め(ノンスリップ)</p> <p>材 種 ステンレス(SUS304)</p> <p>取付け方法 ピニールタイヤ入り(幅約35mm) ・ 埋込み工法</p> <p>(20.2.7)</p> <p>6. 床目地樫</p> <p>ステンレス 3×9</p> <p>(床仕上げが異なる場合に替える。但し、建具部は建具表による。)</p> <p>(20.2.8)</p> <p>7. 鏡</p> <p>耐湿鏡 t=5 ステンレスフレーム付き</p> <p>(20.2.10)</p> <p>8. 表 示</p> <p>衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品</p> <p>誘導標識 市販品</p> <p>室名札</p> <p>(20.2.11)</p> <p>9. 点検口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材 種</th> <th>寸 法</th> <th>形 式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天 井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・ 600×600</td> <td>※ 目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>※ 一般型貼用 ・ 一般型充填用 ・ 体育館床用 鍵付</td> </tr> </tbody> </table> <p>10. 視覚障害者用誘導ブロック</p> <p>屋 外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル(※100角・150角)</p>	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品	・硬質ウレタンフォーム保温材	※A種押出法 3種b (スキム層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ピット内部		・フェノールフォーム保温材	※A種		JIS A 9511の JIS表示認証製品	・吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1	※ 20	JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 JIS表示認証製品	・グラスウール保温材	※A種押出法 3種b (スキム層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ピット内部		※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート		※ 100	※ 24K品	表 層	種類	※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)		・ 密粒度アスファルト混合物(13F)		・ 細粒度アスファルト混合物(13)		施工場所	工 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ		・清工法 (置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・ 帯電防止 床タイル ・タイル カーペット		・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)						・支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)					施工箇所	材 種	寸 法	形 式	天 井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ	床	※ アルミニウム製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般型貼用 ・ 一般型充填用 ・ 体育館床用 鍵付	<p>図面名称</p> <p>縮尺</p> <p>特記仕様書(4)</p> <p>NO SCALE</p> <p>図面番号</p> <p>A - 04</p>
	材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																						
	・(試料数: )	・(試料数: )																																																																																																																																																																																																							
	・(試料数: )	・(試料数: )																																																																																																																																																																																																							
	・(試料数: )	・(試料数: )																																																																																																																																																																																																							
	・(試料数: )	・(試料数: )																																																																																																																																																																																																							
測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																																																																																																																																																																																					
測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																						
測定点総計 点																																																																																																																																																																																																									
測定3	測定点1, 2, 4, 6, 7, 8	測定点5																																																																																																																																																																																																							
数計機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																								
メンブレンフィルタの直径	25mm	47mm																																																																																																																																																																																																							
試料の吸引流量	1L/min	5L/min																																																																																																																																																																																																							
試料の吸引時間	5min	120min																																																																																																																																																																																																							
試料の透明化	アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法																																																																																																																																																																																																								
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野																																																																																																																																																																																																								
計数アスベスト	幅3µm未満、長さ5µm以上、アスベクト比(長さ/幅)	3以上																																																																																																																																																																																																							
定量限界	50本/L	0.47本/L																																																																																																																																																																																																							
		0.3本/L																																																																																																																																																																																																							
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重																																																																																																																																																																																																								
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等																																																																																																																																																																																																								
通用	室名	状態																																																																																																																																																																																																							
※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護用具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗面、うがい設備																																																																																																																																																																																																							
※	洗浄室 負圧	※ エアシャワー(温水シャワー)																																																																																																																																																																																																							
※	前室 負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																																																							
種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																						
※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																						
・硬質ウレタンフォーム保温材	※A種押出法 3種b (スキム層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ピット内部																																																																																																																																																																																																							
・フェノールフォーム保温材	※A種		JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																						
・吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1	※ 20	JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級																																																																																																																																																																																																						
種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																						
・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下記以外	※ 25 JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																						
・グラスウール保温材	※A種押出法 3種b (スキム層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ピット内部																																																																																																																																																																																																							
※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート		※ 100	※ 24K品																																																																																																																																																																																																						
表 層	種類																																																																																																																																																																																																								
※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																																																																																									
・ 密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																																																																																									
・ 細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																																																																																									
施工場所	工 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ																																																																																																																																																																																																				
	・清工法 (置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・ 帯電防止 床タイル ・タイル カーペット																																																																																																																																																																																																				
	・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)																																																																																																																																																																																																								
	・支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	材 種	寸 法	形 式																																																																																																																																																																																																						
天 井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ																																																																																																																																																																																																						
床	※ アルミニウム製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般型貼用 ・ 一般型充填用 ・ 体育館床用 鍵付																																																																																																																																																																																																						

工事件名：美化センター外装改修工事

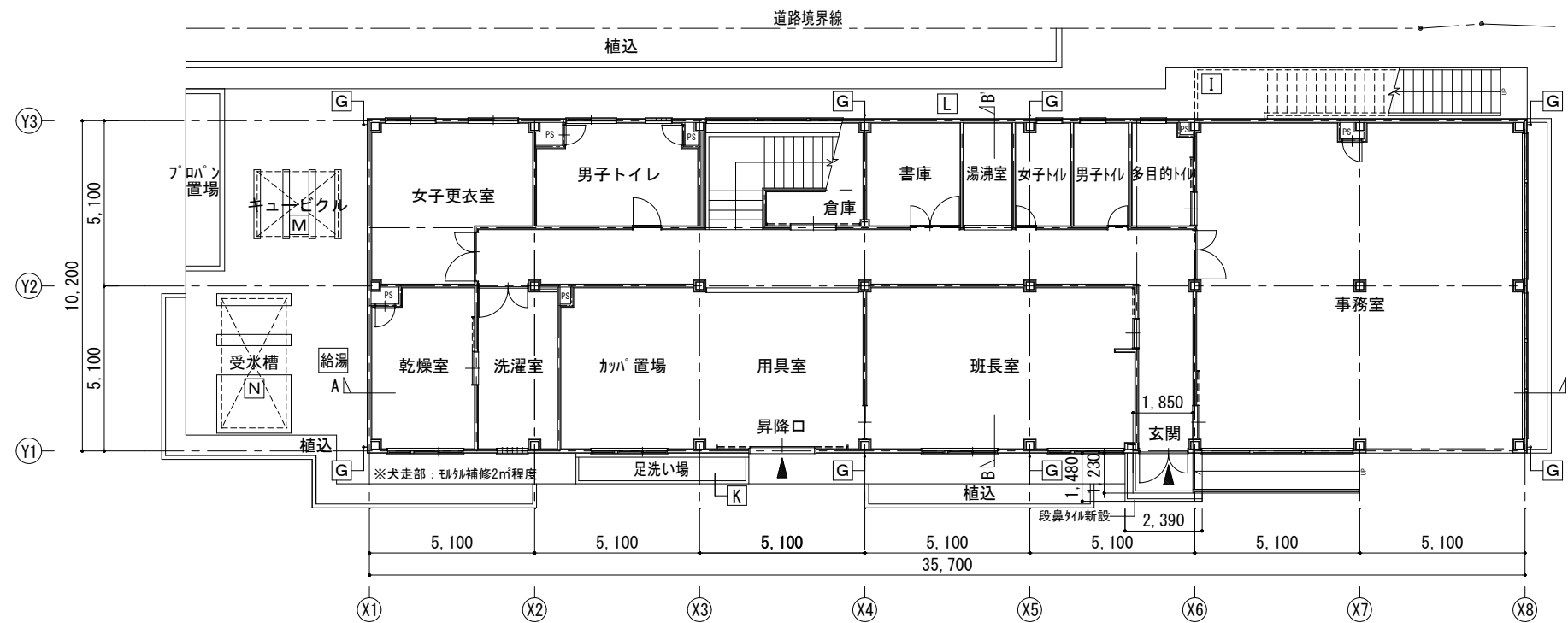


海老名市

工 事 概 要		
工 事 名 称	工事名称	美化センター外装改修工事
	工事場所	海老名市杉久保北一丁目4番1号
	建物用途	事務所
	工事種別	外装改修工事
構 造 ・ 規 模	敷地面積	3,496.06 m <sup>2</sup>
	階 数	2階建
	構 造	鉄骨造
	建築面積	375.40 m <sup>2</sup>
	延床面積	728.28 m <sup>2</sup>

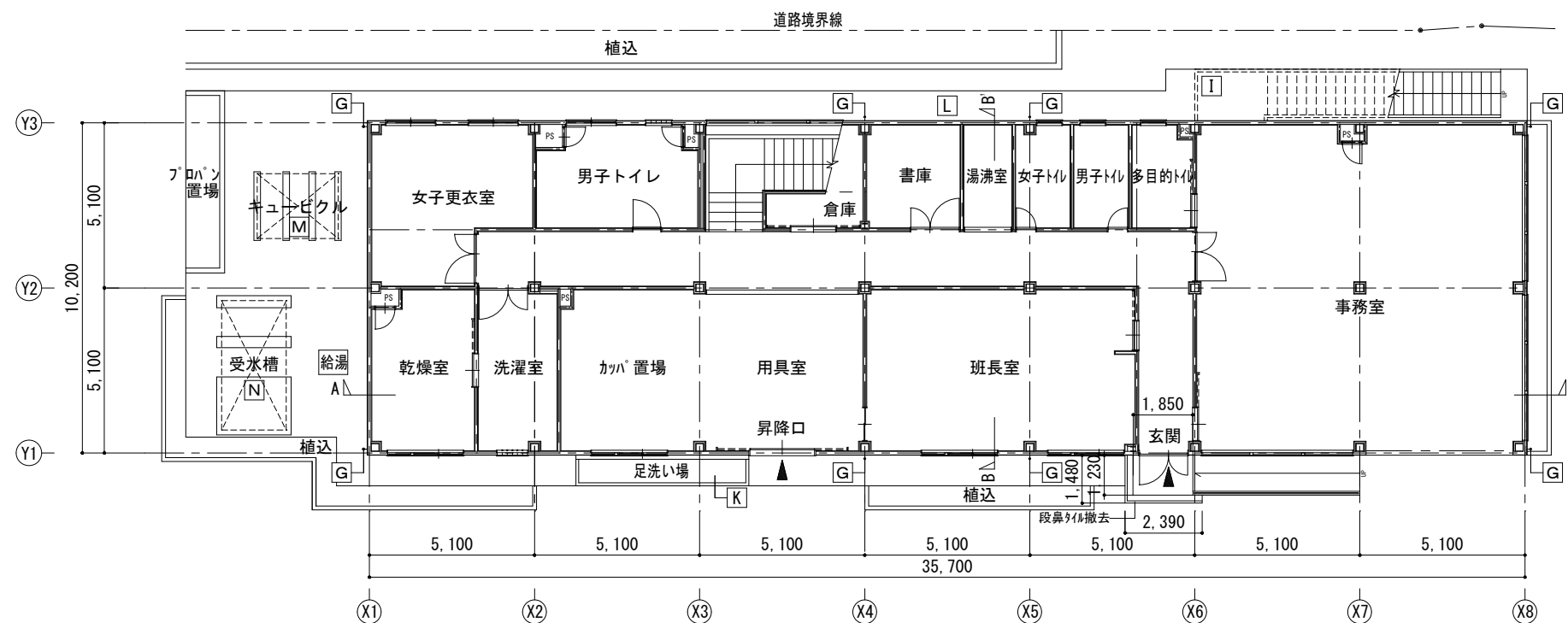






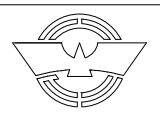
改修1階平面図 1/100

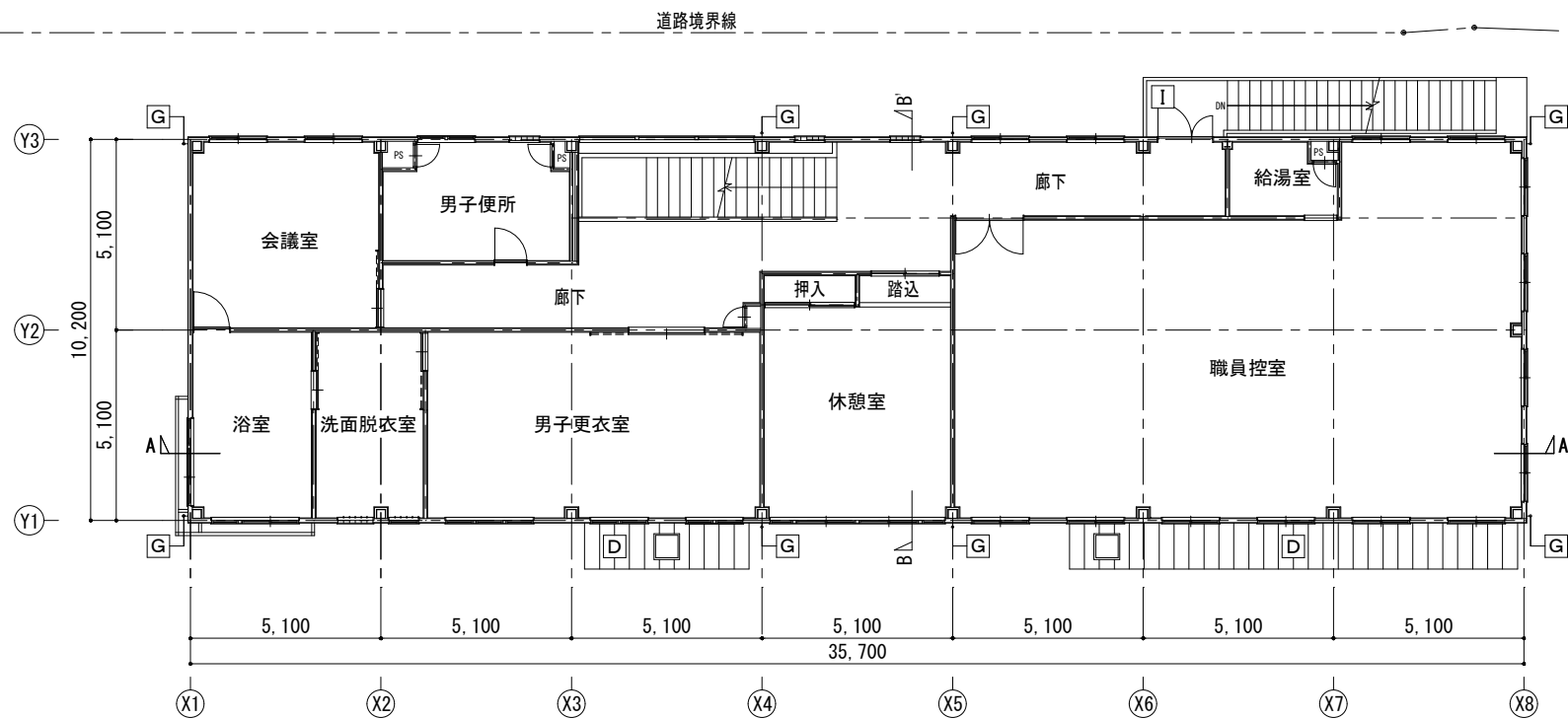
外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、棟包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面: クリーニング、白錆除去
外壁	E1	クリーニング、白錆除去
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mp コーナ金物: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
巾木	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
縦樋	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	H	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面: 透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	I	鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面: 水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	K	高圧水洗10~15Mpa
犬走	L	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2㎡程度
キュービクル	M	耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
受水槽	N	超低汚染形ターベン可溶アクリルシリコン樹脂塗装、下地調整



既存1階平面図 1/100

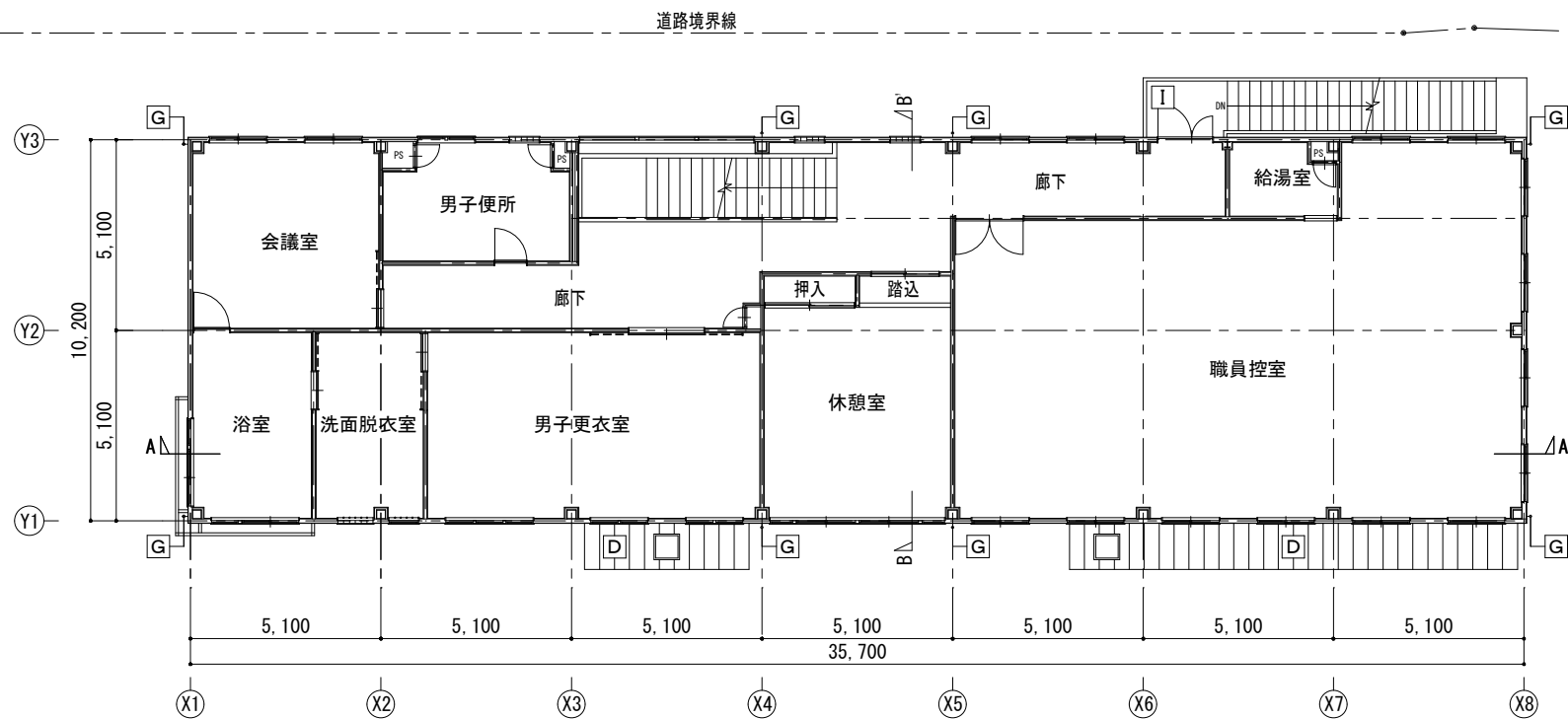
外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物: FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平葺加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物: L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面: フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 : アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面: アルミスバンドレル
外壁	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナ金物: 亜鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
巾木	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部: OP塗装・踏面: 塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部: OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え
キュービクル	M	粉体塗装、亜鉛メッキ鋼板
受水槽	N	鋼板製一体型受水槽、加熱硬化型エポキシ樹脂ライニング





改修 2階平面図 1/100

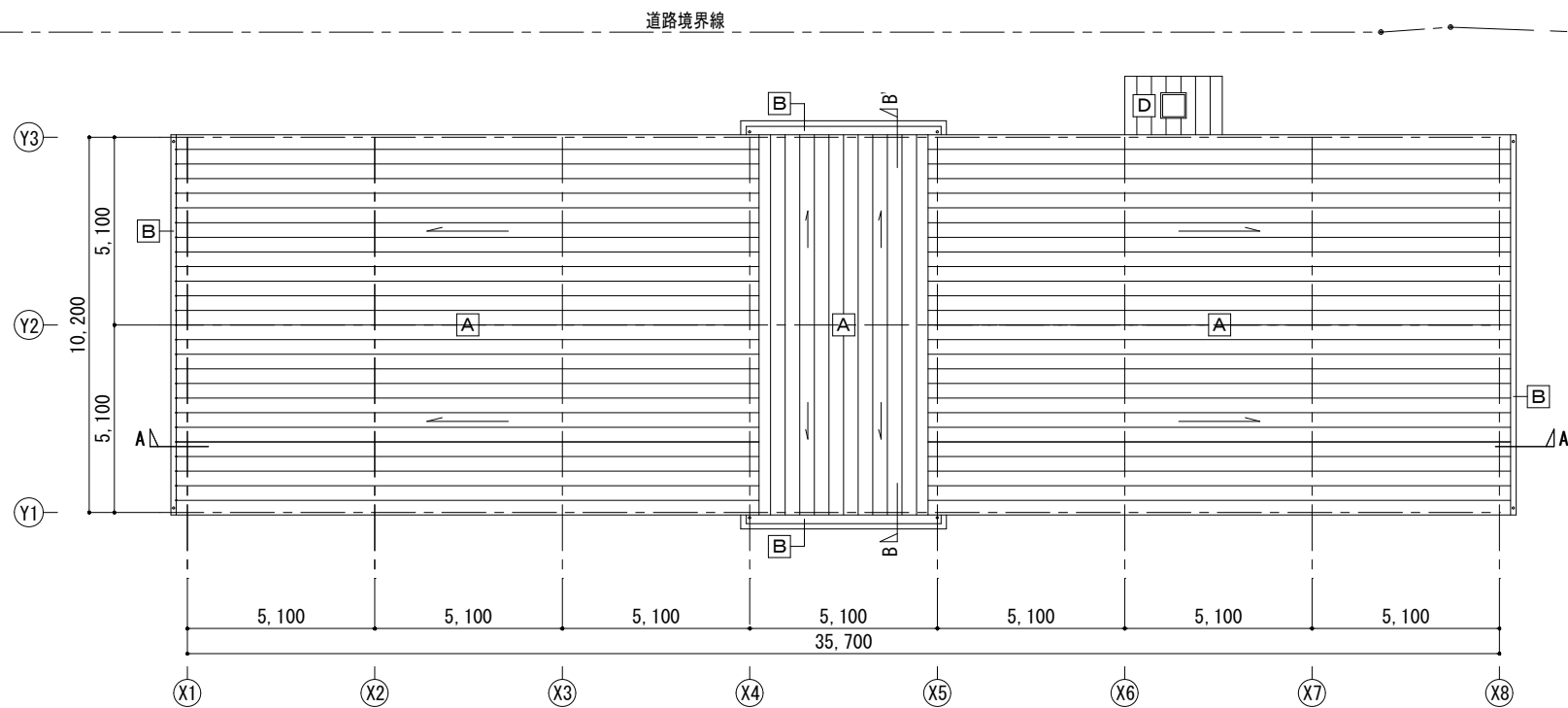
外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工法立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4(ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、横包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面: クリーニング、白錆除去
外壁	E1	クリーニング、白錆除去
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa コーナー金物: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
巾木	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
縦樋	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	H	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面: 透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	I	鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面: 水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	K	高圧水洗10~15Mpa
犬走	L	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2㎡程度



既存 2階平面図 1/100

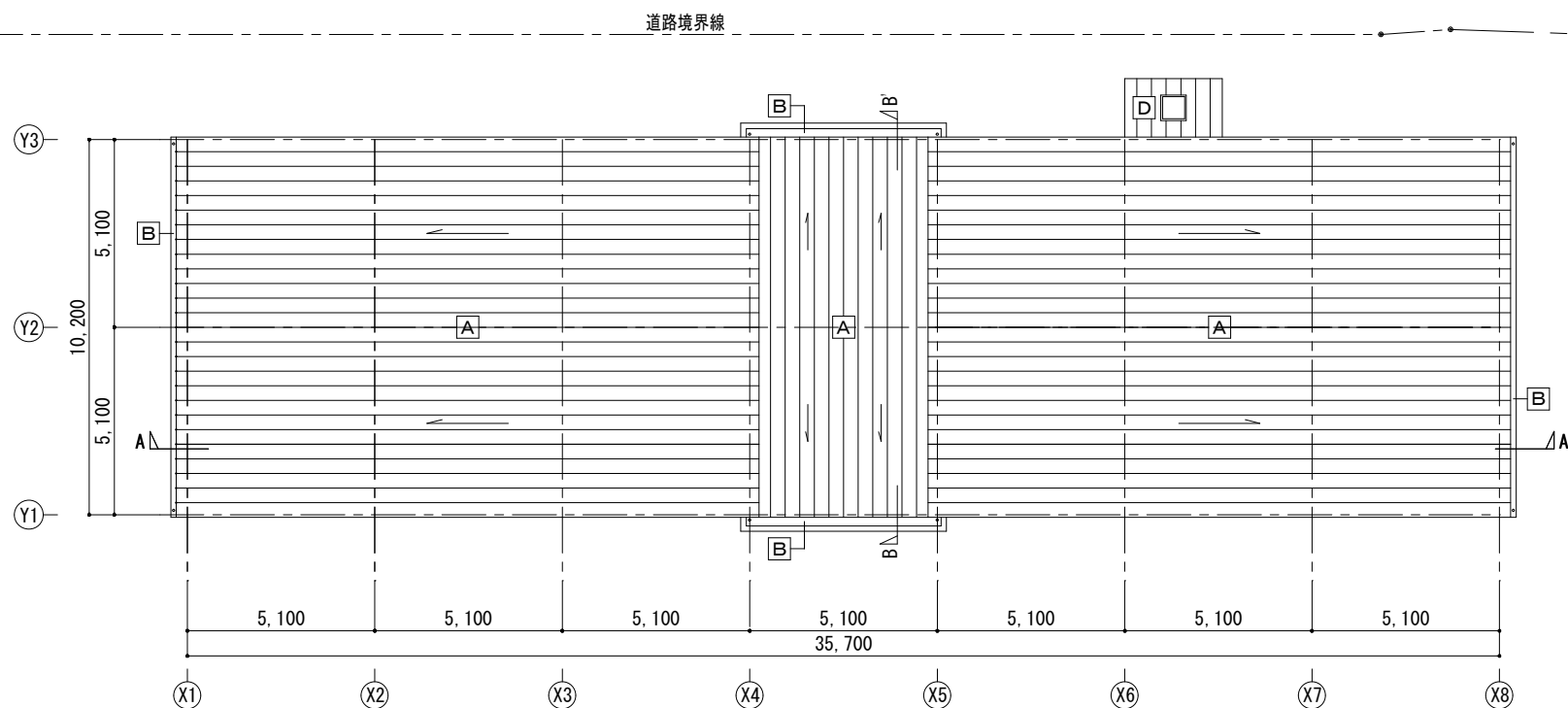
外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物: FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平板加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物: L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面: フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 : アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面: アルミスバンドレル
	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
外壁	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナー金物: 亜鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部: OP塗装・踏面: 塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部: OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え





改修屋根伏せ図 1/100

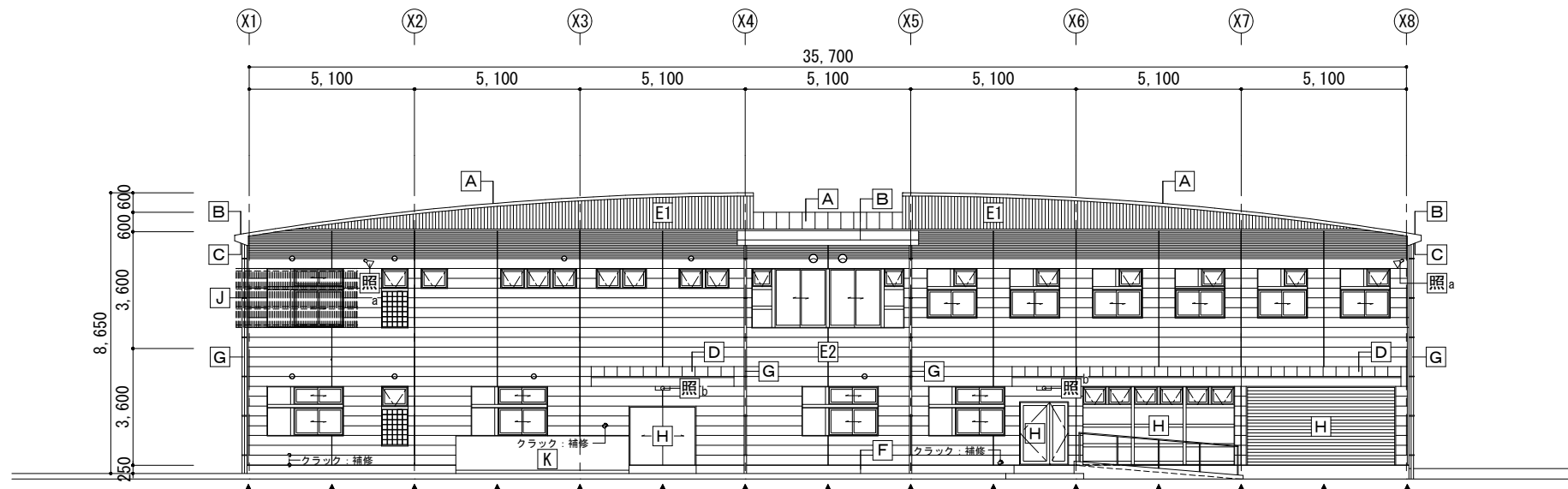
外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工法立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4(ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、横包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面: クリーニング、白錆除去
外壁	E1	クリーニング、白錆除去
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mp コーナー金物: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
巾木	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
縦樋	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	H	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面: 透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	I	鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面: 水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	K	高圧水洗10~15Mpa
犬走	L	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2㎡程度



既存屋根伏せ図 1/100

外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物: FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物: L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面: フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 : アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面: アルミスバンドレル
外壁	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナー金物: 亜鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
巾木	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部: OP塗装・踏面: 塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部: OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え

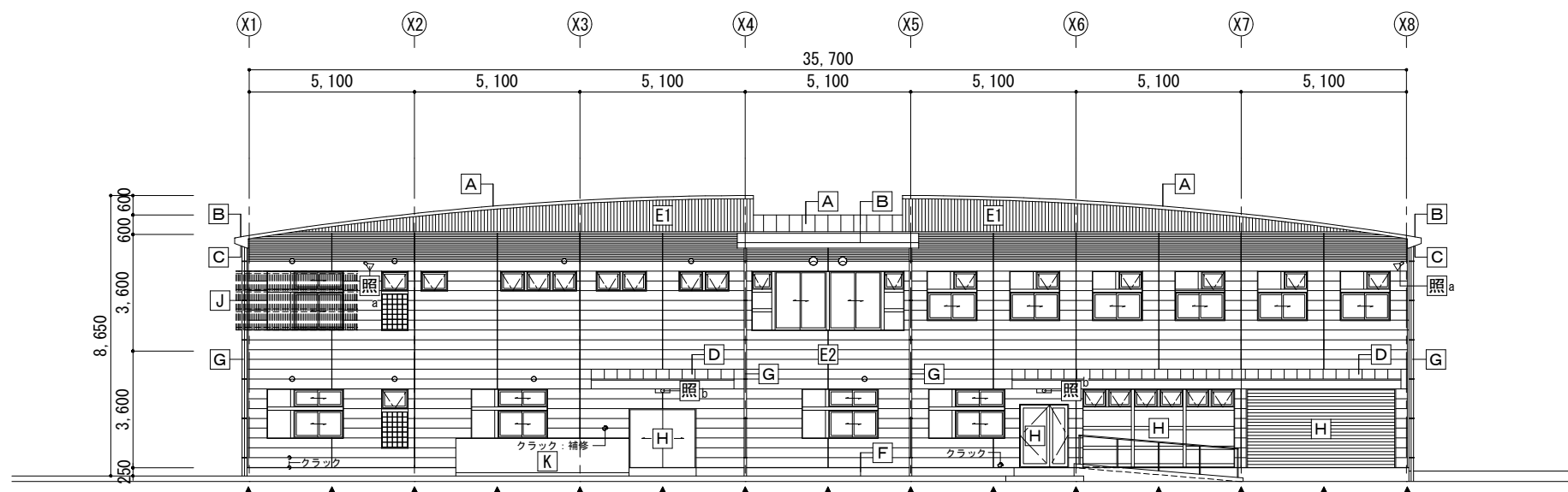




改修西側立面図 1/100

外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工法立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、横包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面: クリーニング、白錆除去
外壁	E1	クリーニング、白錆除去
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa コーナー金物: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
巾木	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
縦樋	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	H	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面: 透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	I	鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面: 水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	K	高圧水洗10~15Mpa
犬走	L	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2m程度
照明器具	照	LED照明器具 新設 (a:LED投光器×2、b:LEDラケット照明×3、c:LEDポーチ照明×2)
ウエザカバー	••○	深型ウエザカバー 新設 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲: 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10



既存西側立面図 1/100

外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物: FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平葺加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物: L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面: フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 : アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面: アルミスバンドレル
外壁	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナー金物: 垂鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
巾木	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部: OP塗装・踏面: 塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部: OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え
照明器具	照	照明器具 撤去 (a:投光器×2、b:FL10W×3、c:FL20W×2)
ウエザカバー	••○	ウエザカバー 撤去 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲: 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去

工事件名: 美化センター外装改修工事



海老名市

図面名称

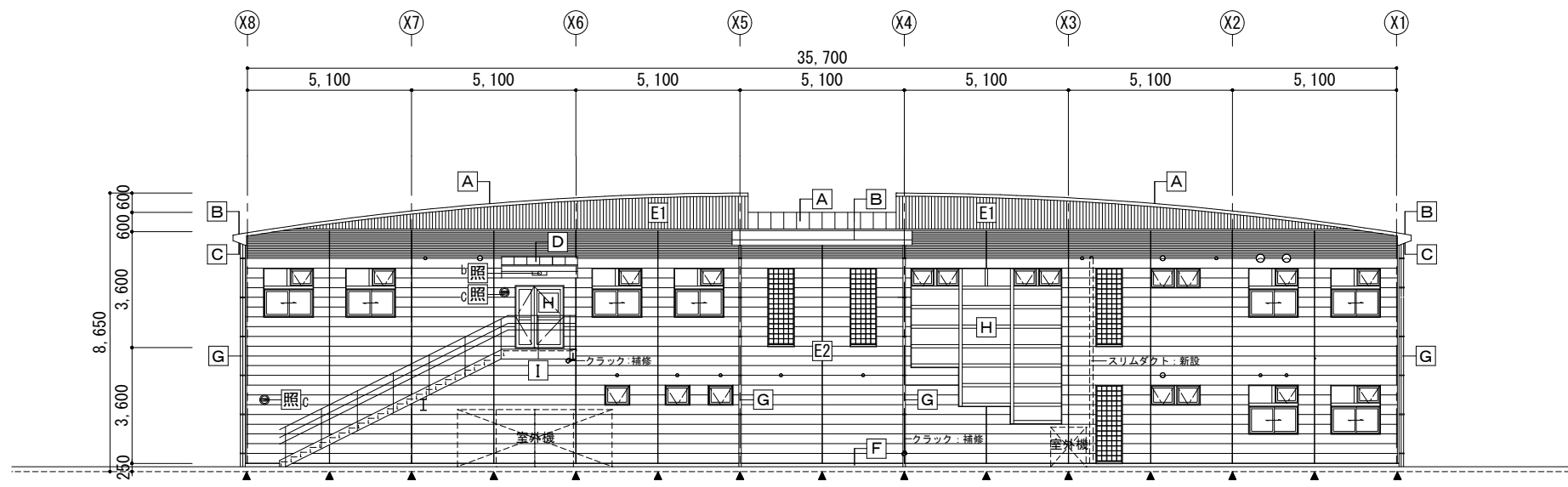
既存改修 西側立面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

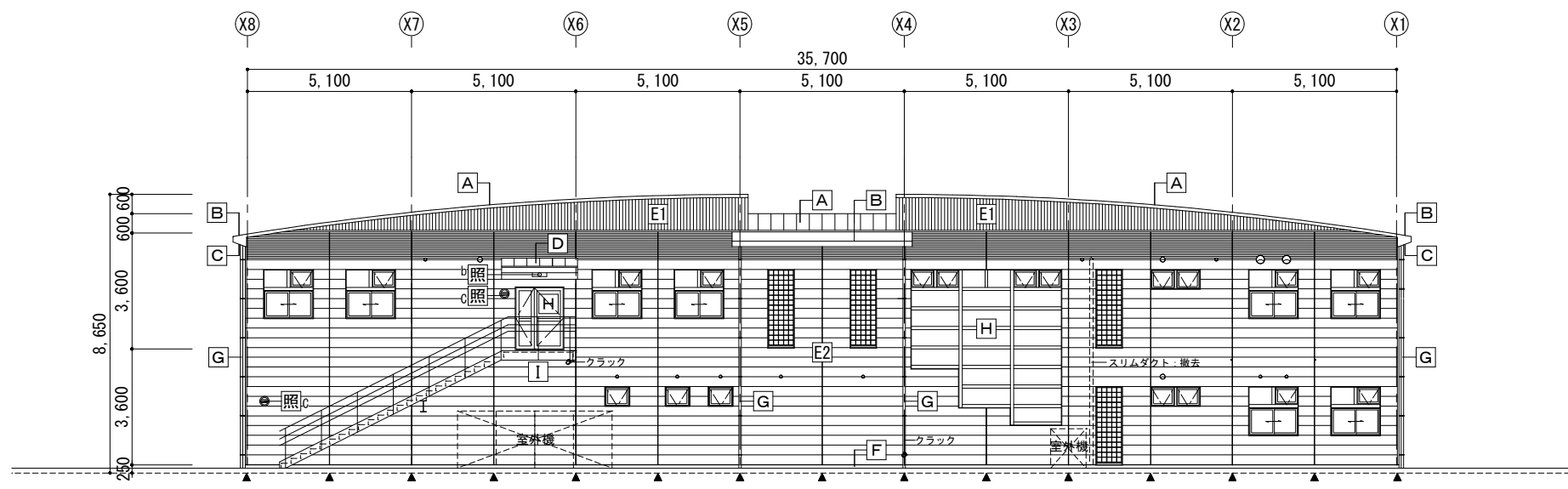
A - 10



改修東側立面図 1/100

外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工法立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、横包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面: クリーニング、白錆除去
	E1	クリーニング、白錆除去
外壁	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa コーナー金物: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
巾木	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
縦樋	H	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	I	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面: 透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	J	鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面: 水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	K	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	L	高圧水洗10~15Mpa
犬走	M	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2m程度
照明器具	照	LED照明器具 新設 (a: LED投光器×2、b: LED7'ラット照明×3、c: LEDポーチ照明×2)
ウエザカバー	ウエザ	深型ウエザカバー 新設 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

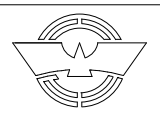
▲: 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10

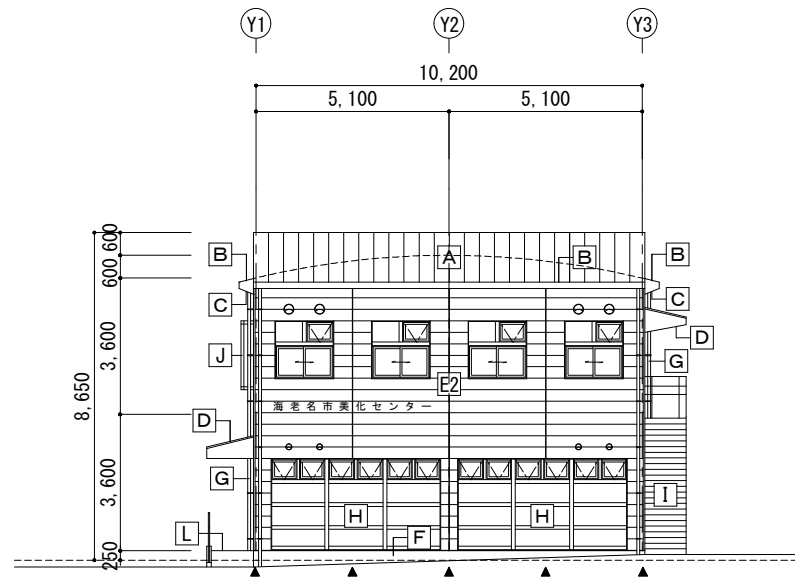


既存東側立面図 1/100

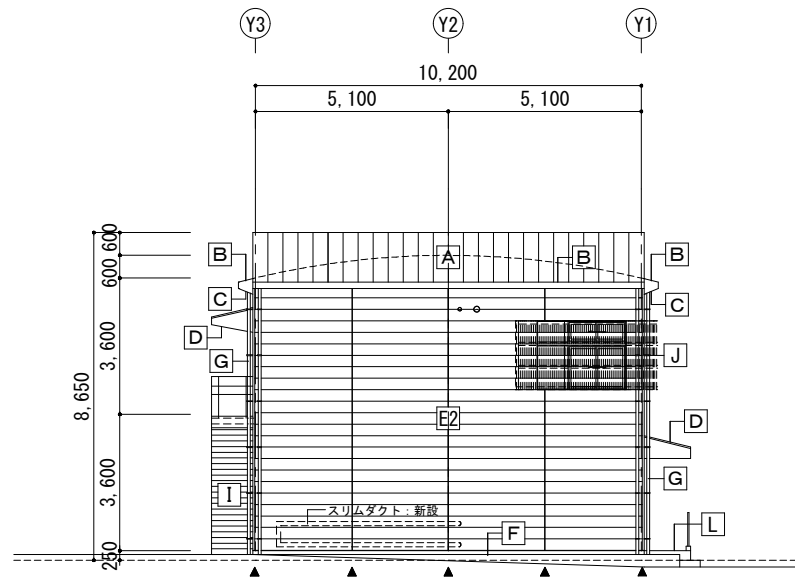
外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物: FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平葺加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物: L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面: フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 : アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面: アルミスバンドレル
	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
外壁	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナー金物: 垂鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部: OP塗装・踏面: 塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部: OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え
照明器具	照	照明器具 撤去 (a: 投光器×2、b: FL10W×3、c: FL20W×2)
ウエザカバー	ウエザ	ウエザカバー 撤去 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲: 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去





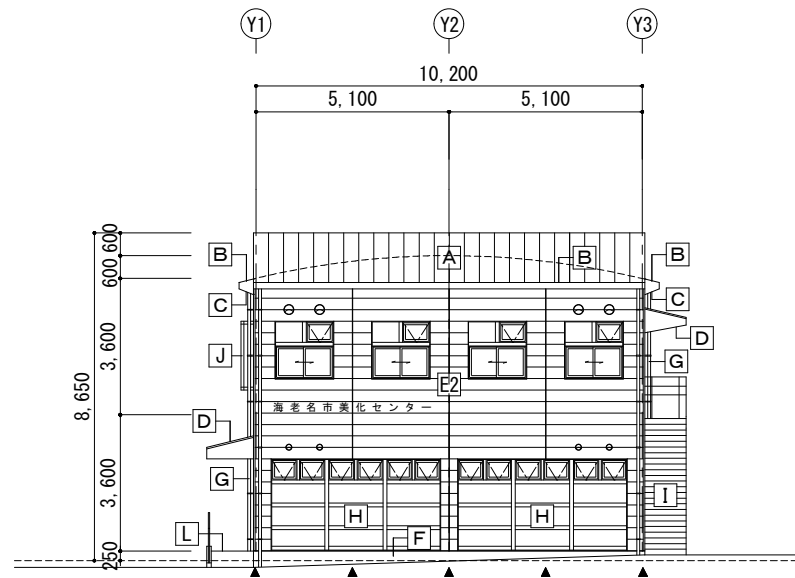
改修南側立面図 1/100



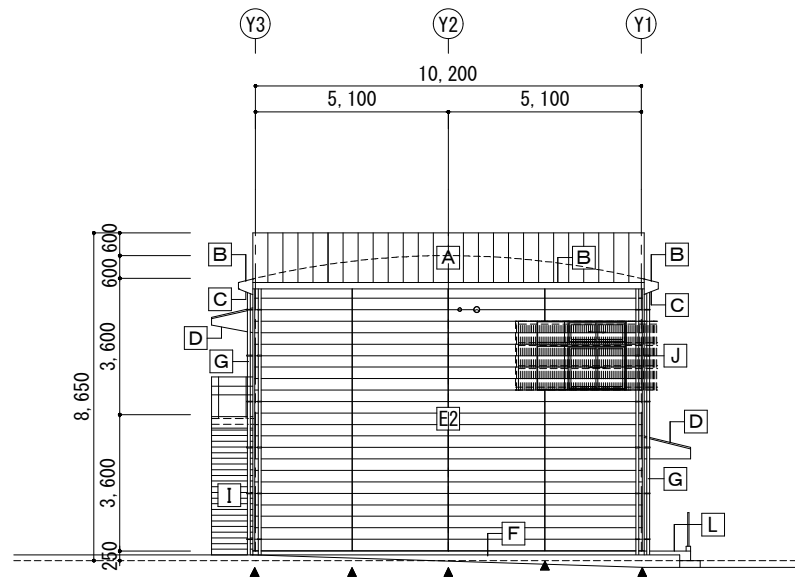
改修北側立面図 1/100

外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工法立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、横包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面：クリーニング、白錆除去
外壁	E1	クリーニング、白錆除去
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mp コーナー金物：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
巾木	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
縦樋	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	H	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面：透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	I	鉄部：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面：水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	K	高圧水洗10~15Mpa
犬走	L	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2m程度
照明器具	照	LED照明器具 新設 (a:LED投光器×2、b:LEDラケット照明×3、c:LEDポーチ照明×2)
ウェザーカバー	••○	深型ウェザーカバー 新設 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲：高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10



既存南側立面図 1/100

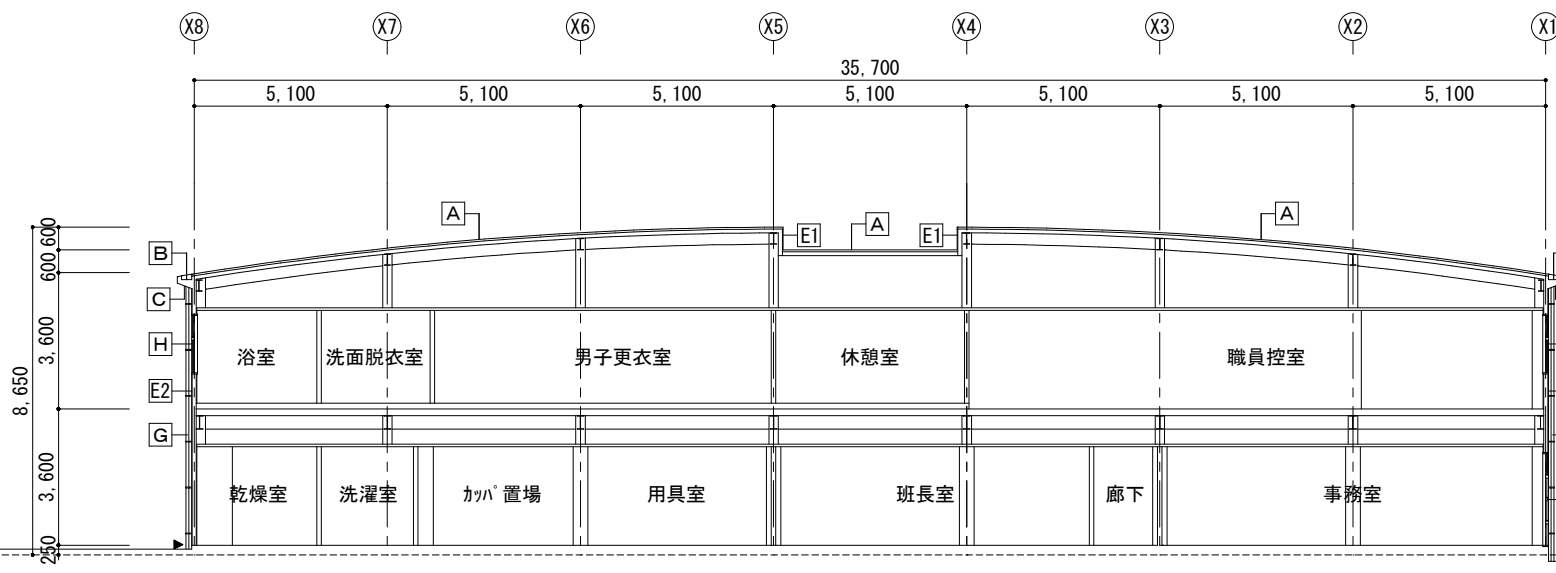


既存北側立面図 1/100

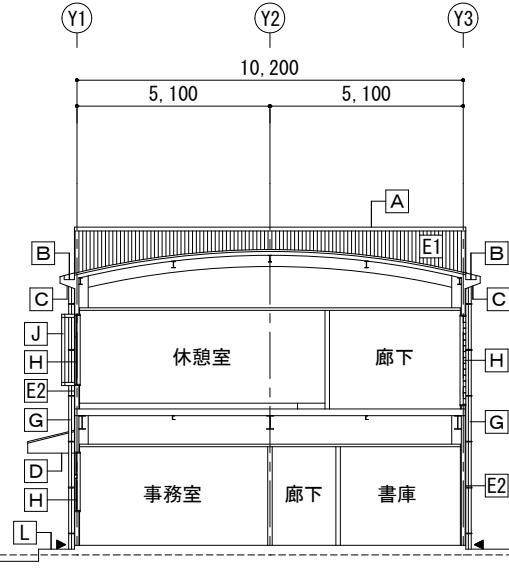
外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物：FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平葺加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物：L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面：フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 ：アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面：アルミスバンドレル
外壁	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナー金物：垂鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
巾木	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部：OP塗装・踏面：塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部：OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え
照明器具	照	照明器具 撤去 (a:投光器×2、b:FL10W×3、c:FL20W×2)
ウェザーカバー	••○	ウェザーカバー 撤去 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲：高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去





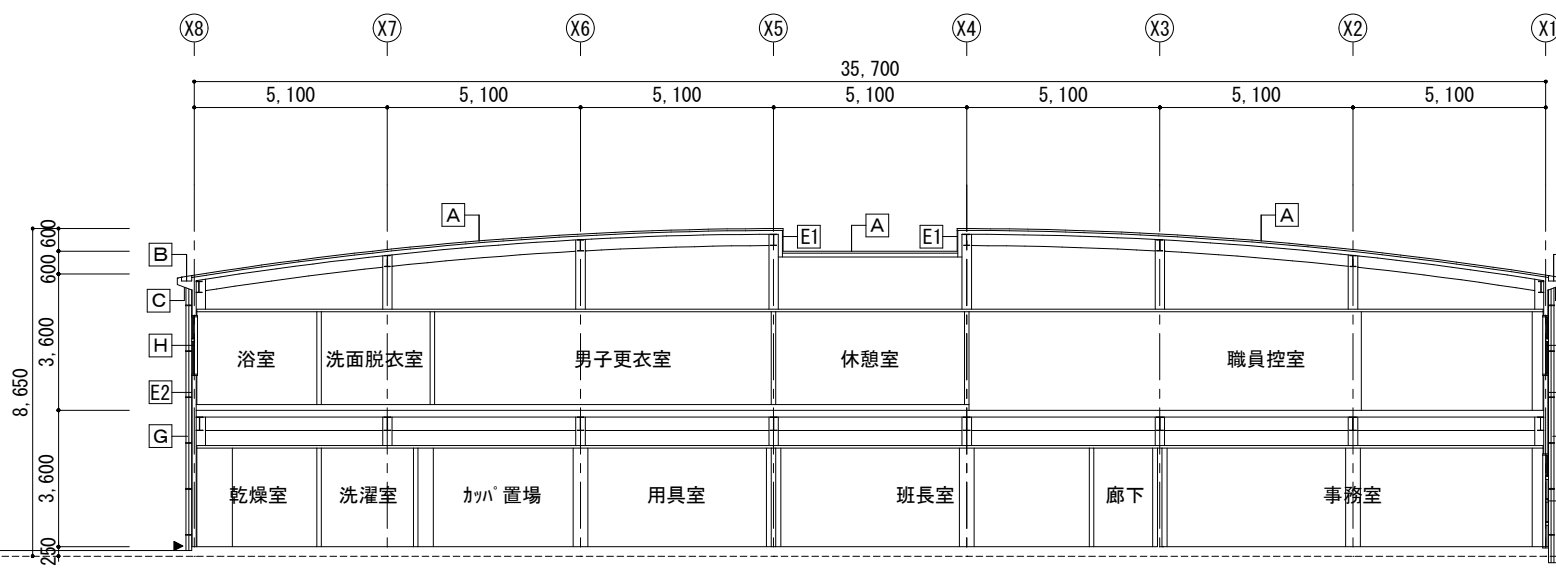
改修 A ~ A' 断面図 1/100



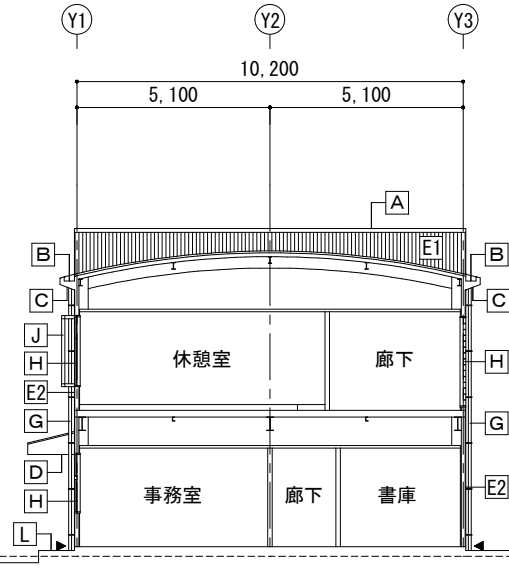
改修 B ~ B' 断面図 1/100

外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	嵌合式外断熱足長吊子工法立平葺 (カバー工法) フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (ポリエチレンフォーム裏貼り 厚2.0) 押出法ポリスチレンフォーム 厚40、軒先伸縮唐草、軒先化粧面戸、横包ミ、水切り 既存雨押エ・ケバラ面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
内樋	B	塩ビ積層鋼板 (塩ビシート 厚1.5+フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4) (カバー工法) 落葉除け (補強下地材共)
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 (補強下地材共) 新設 軒裏廻り廻りシーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
庇	D	庇上面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 庇下面：クリーニング、白錆除去
外壁	E1	クリーニング、白錆除去
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mp コーナー金物：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10 新設
巾木	F	外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
縦樋	G	カラー塩ビ管φ100 新設、SUS支持金物 新設
建具	H	クリーニング、建具廻り シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10 ガラスブロック面：透明塗膜防水、ガラス面 シーリング打 シリコン系 (SR-1) 10×10 新設 (外側のみ)
鉄骨階段	I	鉄部：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 踏面：水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修 壁・鉄骨取合い部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 15×10
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 新設 鉄部：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
足洗い場	K	高圧水洗10~15Mpa
犬走	L	高圧水洗10~15Mpa モルタル補修 2m程度
照明器具	照	LED照明器具 新設 (a:LED投光器×2、b:LEDラケット照明×3、c:LEDポーチ照明×2)
ウェザーカバー	••○	深型ウェザーカバー 新設 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲：高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング打 変成シリコン系 (MS-2) 10×10



既存 A ~ A' 断面図 1/100

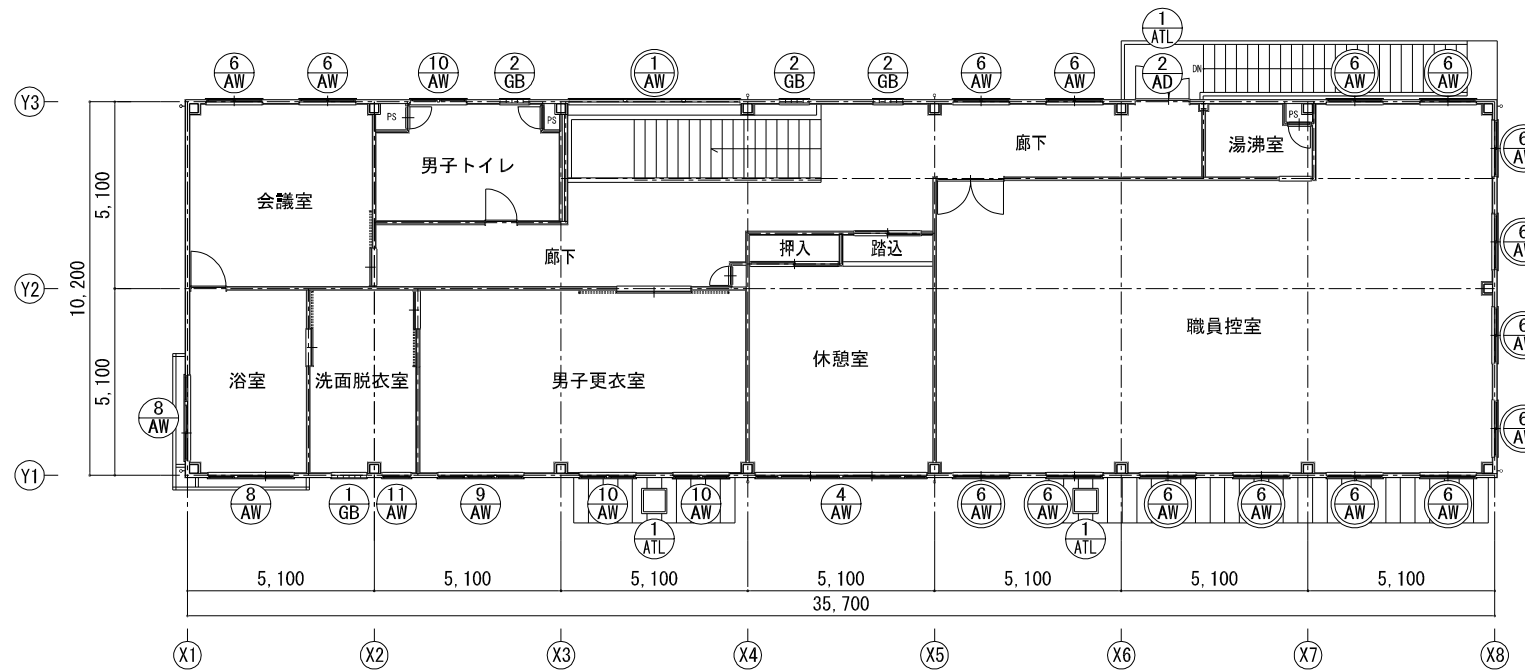


既存 B ~ B' 断面図 1/100

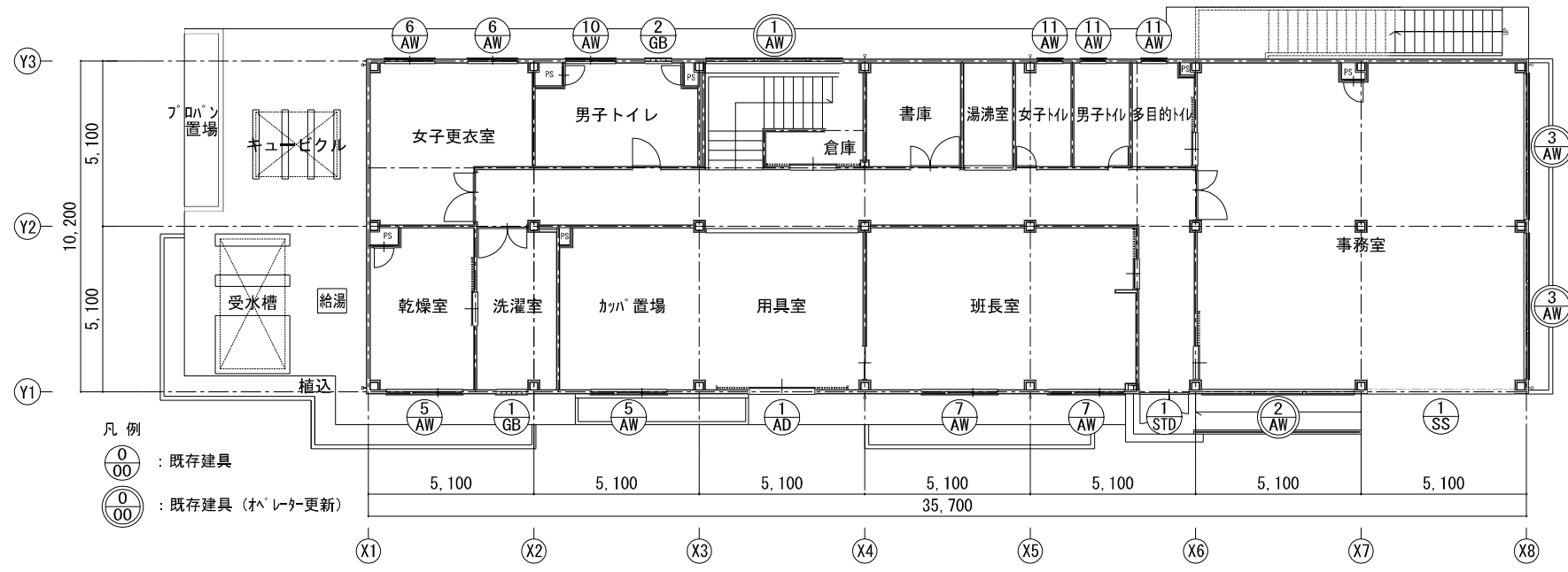
外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	フッ素鋼板縦平葺 厚0.45、発泡ポリエチレンフォーム裏貼り 厚4 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
内樋	B	耐酸被覆鋼板 受金物：FB-3×38 @600
笠木・幕板 軒裏	C	フッ素鋼板平加工 厚0.45撤去、合板 厚12、軒裏廻りシーリング撤去 受金物：L-30×30×3 @600
庇	D	庇上面：フッ素鋼板縦平葺 厚0.45 ：アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40 庇下面：アルミスバンドレル
外壁	E1	アルミスバンドレル 厚1 アスファルトフェルト 17kg、木毛セメント板 厚40
	E2	EP塗装 高強度セメント押出成形板 厚15、コーナー金物：垂鉛鋼板突き付け 厚0.4 高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去
巾木	F	コンクリート金ゴテ
縦樋	G	硬質塩ビ管 75φ 撤去、SUS支持金物 撤去
建具	H	ステンレス建具、アルミサッシ、建具廻りシーリング撤去、ガラス面シーリング撤去 (外側のみ) 電動スチールシャッター
鉄骨階段	I	鉄部：OP塗装・踏面：塗床、モルタル金ゴテ 壁・鉄骨取合い部 シーリング撤去
目隠し壁	J	FRP波板 (半透明) 厚1 撤去 鉄部：OP塗装
足洗い場	K	モザイクタイル貼り、コンクリートブロック 厚100 ステンレス足洗いマット
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え
照明器具	照	照明器具 撤去 (a:投光器×2、b:FL10W×3、c:FL20W×2)
ウェザーカバー	••○	ウェザーカバー 撤去 (100φ×7、150φ×16、200φ×4、300φ×8)

▲：高強度セメント押出成形板ジョイント部 シーリング撤去





2階キープラン表 1/100

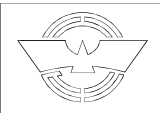


1階キープラン表 1/100

凡例  
 ① : 既存建具  
 ② : 既存建具 (オーバー更新)

※排煙オペレーターは、更新しない窓についても作動点検を行うこと。

工事件名：美化センター外装改修工事



海老名市

図面名称  
縮尺

キープラン表

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 14

符号 名称	① SS 電動スチールシャッター	1	① STP ステンレス製 親子扉	1	① AB アルミ製 引分け戸	1	① AD アルミ製 親子扉	1
窓 図								
場所	1階 事務室		1階 廊下		1階 用具室		2階 廊下	
仕上	スチール焼付塗装		ステンレス304 鏡面仕上		アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー	
見込	70 mm		70 mm		5 mm 透明		70 mm	
ガラス	—		5 mm 透明		70 mm		5 mm 透明	
金物	三方枠 SUS304 鏡面仕上、シャッターボックス、ガイドレール SUS304		握り棒 SUS304 φ32 L800、ヒボットピン、ドアフェック、番指 SUS304		引手 SUS304、シリンダーサムターン、7M三方枠、番指 SUS304		握り棒 SUS304 φ32 L800、ヒボットピン、ドアフェック、番指 SUS304	
改修内容	附属金物一式 改修内容：建具クリンク、建具廻りシーリング打替、シャッターブラッド 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整		附属金物一式、衝突防止シール 改修内容：建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替		附属金物一式 改修内容：建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替		附属金物一式 改修内容：建具クリンク、建具廻りシーリング打替	

符号 名称	① AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓	1	② AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓	1	③ AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓	2
窓 図						
場所	階段室		1階 事務室		1階 事務室	
仕上	アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー	
見込	70 mm		70 mm		70 mm	
ガラス	5 mm 透明 (排煙窓)、網入り型板ガラス 厚6.8mm (Fix窓)		5 mm 透明		5 mm 透明	
金物	アルミアングル、水切皿板、排煙オペレーター (埋込2連) × 2		アルミアングル、水切皿板、排煙オペレーター (埋込3連) × 2		アルミアングル、水切皿板、排煙オペレーター (埋込3連) × 2	
改修内容	附属金物一式 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター (埋込2連) × 2 更新 (1か所)		附属金物一式 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター (埋込3連) × 2 更新 (1か所)		附属金物一式 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター (埋込3連) × 2 更新 (2か所)	

符号 名称	④ AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓・引違い窓	1	⑤ AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓・引違い窓	2	⑥ AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓・引違い窓	18	⑦ AW アルミサッシ 排煙窓付 Fix窓・引違い窓	2	⑧ AW アルミサッシ Fix窓・引違い窓	2
窓 図										
場所	2階 休憩室		1階 乾燥室・用具室		1階 女子更衣室、2階 会議室・職員控室・廊下		1階 班長室		2階 浴室	
仕上	アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー		アルミ.アルマイト処理 シルバー	
見込	70 mm		70 mm		70 mm		70 mm		70 mm	
ガラス	5 mm 透明		5 mm 透明		5 mm 透明		5 mm 透明		5 mm 透明	
金物	アルミアングル、水切皿板、クレセント、排煙オペレーター (埋込) × 2		アルミアングル、水切皿板、クレセント、排煙オペレーター (埋込)		アルミアングル、水切皿板、クレセント、排煙オペレーター (埋込)		アルミアングル、水切皿板、クレセント、排煙オペレーター (埋込2連)		水切皿板、クレセント、アルミ額縁	
改修内容	附属金物一式、網戸 (サラン) 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替、網戸張替 排煙オペレーター (埋込) × 2 作動確認		附属金物一式、網戸 (サラン) 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替、網戸張替 排煙オペレーター (埋込) 作動確認		附属金物一式、網戸 (サラン) 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替、網戸張替 排煙オペレーター (埋込) 更新 (12か所)		附属金物一式、網戸 (サラン) 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替、網戸張替 排煙オペレーター (埋込2連) 作動確認		附属金物一式、網戸 (サラン) 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替、網戸張替 建具クリンク、ガラス止め・建具廻りシーリング打替、網戸張替	

工事件名：美化センター外装改修工事



海老名市

図面名称

建具表(1)

縮尺

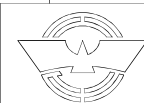
A1:1/50 A3:1/100

図面番号

A - 15

符 号 名 称	9 AW アルミサッシ 排煙窓	1	10 AW アルミサッシ 排煙窓	4	11 AW アルミサッシ 排煙窓	4	16 BB アルミサッシ 排煙窓付・ガラスブロック窓	2	2 BB アルミサッシ ガラスブロック窓	4	1 AL アルミサッシ トップライト	3
姿 図												
場 所	2階 男子更衣室	1階 男子トイレ、2階 男子トイレ・男子更衣室	1階 男女トイレ・多目的トイレ、2階 洗面脱衣室	1階 洗濯室、2階 洗面脱衣室	1階 洗濯室、2階 洗面脱衣室	1階 男子トイレ、2階 廊下・男子トイレ	1階・2階 庇					
仕 上	アルミ、アルマイト処理 シルバー	アルミ、アルマイト処理 シルバー	アルミ、アルマイト処理 シルバー	アルミ、アルマイト処理 シルバー	アルミ、アルマイト処理 シルバー	アルミ、アルマイト処理 シルバー	アルミ、アルマイト処理 シルバー					
見 込	70 mm	70 mm	70 mm	100 mm	100 mm	70 mm	70 mm					
ガラス	5 mm 透明	5 mm 透明	5 mm 透明	5 mm 透明、ガラスブロック 145×145×95	5 mm 透明、ガラスブロック 145×145×95	ガラスブロック 145×145×95	網入り型板ガラス 厚6.8mm 透明					
金 物	アルミアングル、水切血板、排煙オペレーター（埋込3連） 附属金物一式	アルミアングル、水切血板、排煙オペレーター（埋込2連） 附属金物一式	アルミアングル、水切血板、排煙オペレーター（埋込） 附属金物一式	アルミアングル、水切血板、排煙オペレーター（埋込） 附属金物一式	アルミアングル、水切血板、排煙オペレーター（埋込） 附属金物一式	アルミアングル、水切血板 附属金物一式	水切、アルミ額縁 附属金物一式					
改修内容	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター（埋込3連） 作動確認	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター（埋込2連） 作動確認	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター（埋込） 作動確認	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター（埋込） 作動確認、ガラスロック面：7クリシコン樹脂透明塗膜	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 排煙オペレーター（埋込） 作動確認、ガラスロック面：7クリシコン樹脂透明塗膜	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替 ガラスロック面：7クリシコン樹脂透明塗膜	建具クリーニング、ガラス止め・建具廻りシーリング打替					
符 号 名 称												
姿 図												
場 所												
仕 上												
見 込												
ガラス												
金 物												
改修内容												
符 号 名 称												
場 所												
仕 上												
見 込												
ガラス												
金 物												
改修内容												

工事件名：美化センター外装改修工事



海老名市

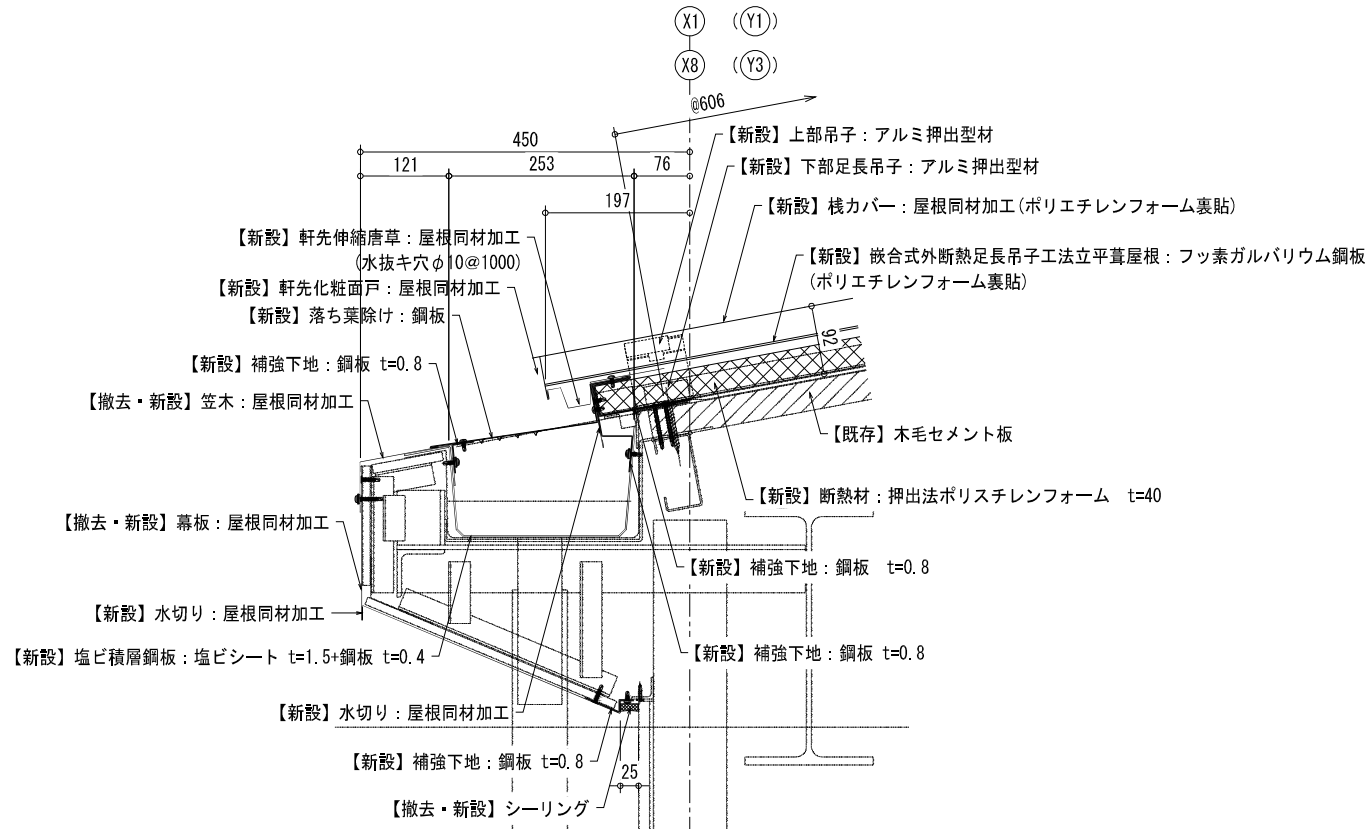
図面名称  
縮尺

建具表(2)  
A1:1/50 A3:1/100

図面番号

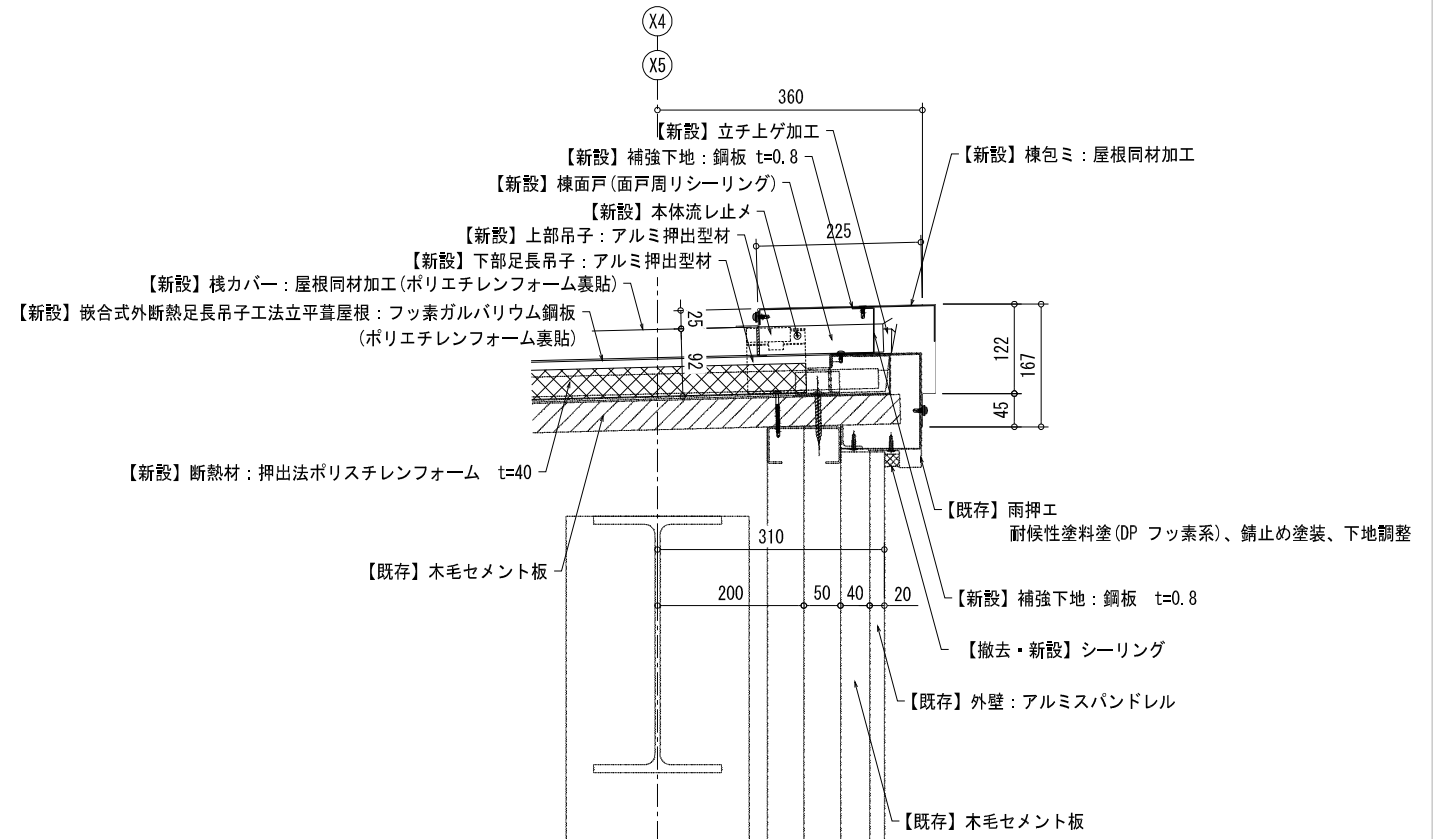
A - 16

軒先 詳細図

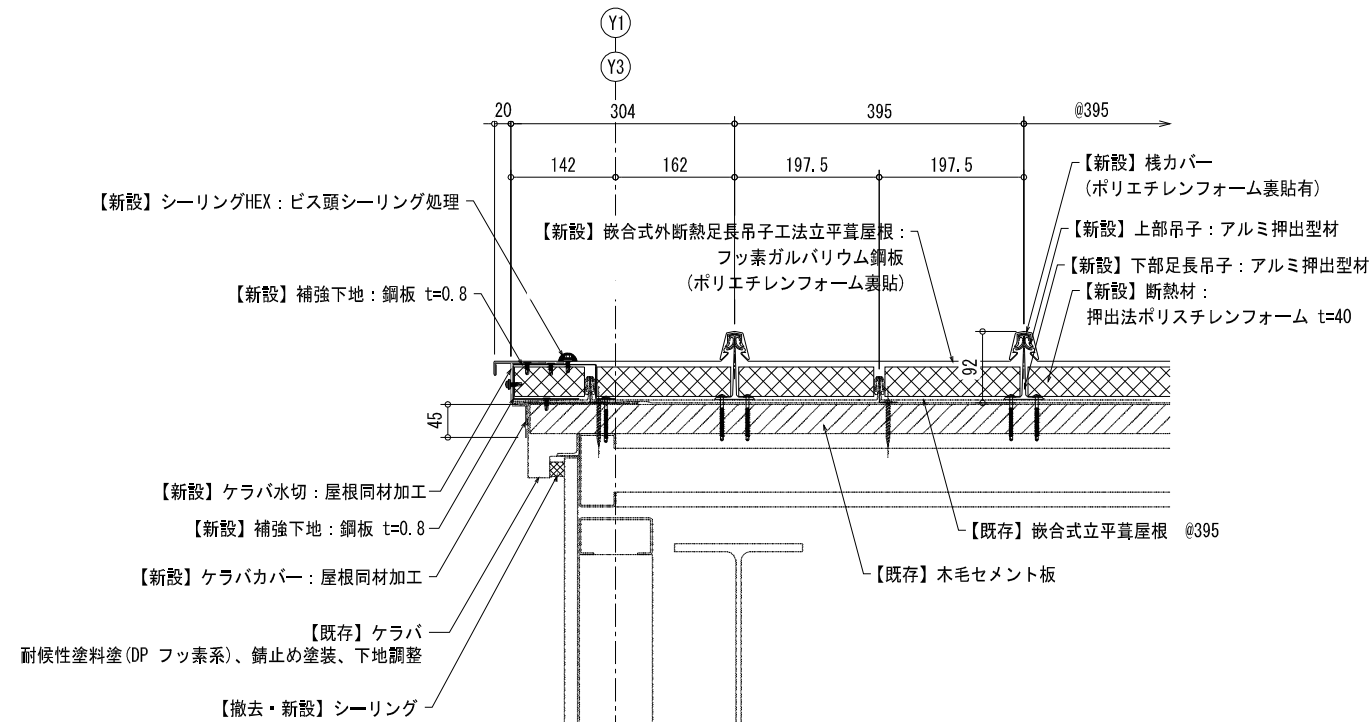


※ 落ち葉除け: 元旦ビューティ工業 (株) 同等品

頂部 詳細図

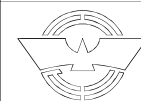
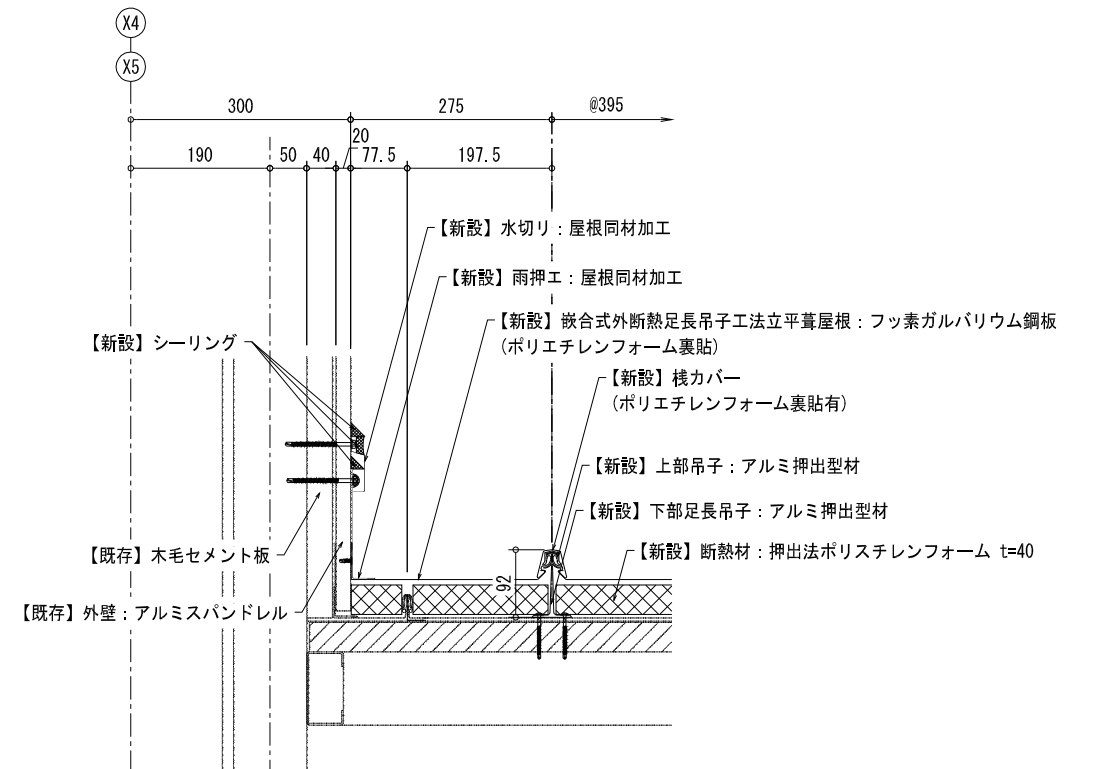


ケラバ 詳細図



工事件名: 美化センター外装改修工事

捨て谷 詳細図



海老名市

図面名称

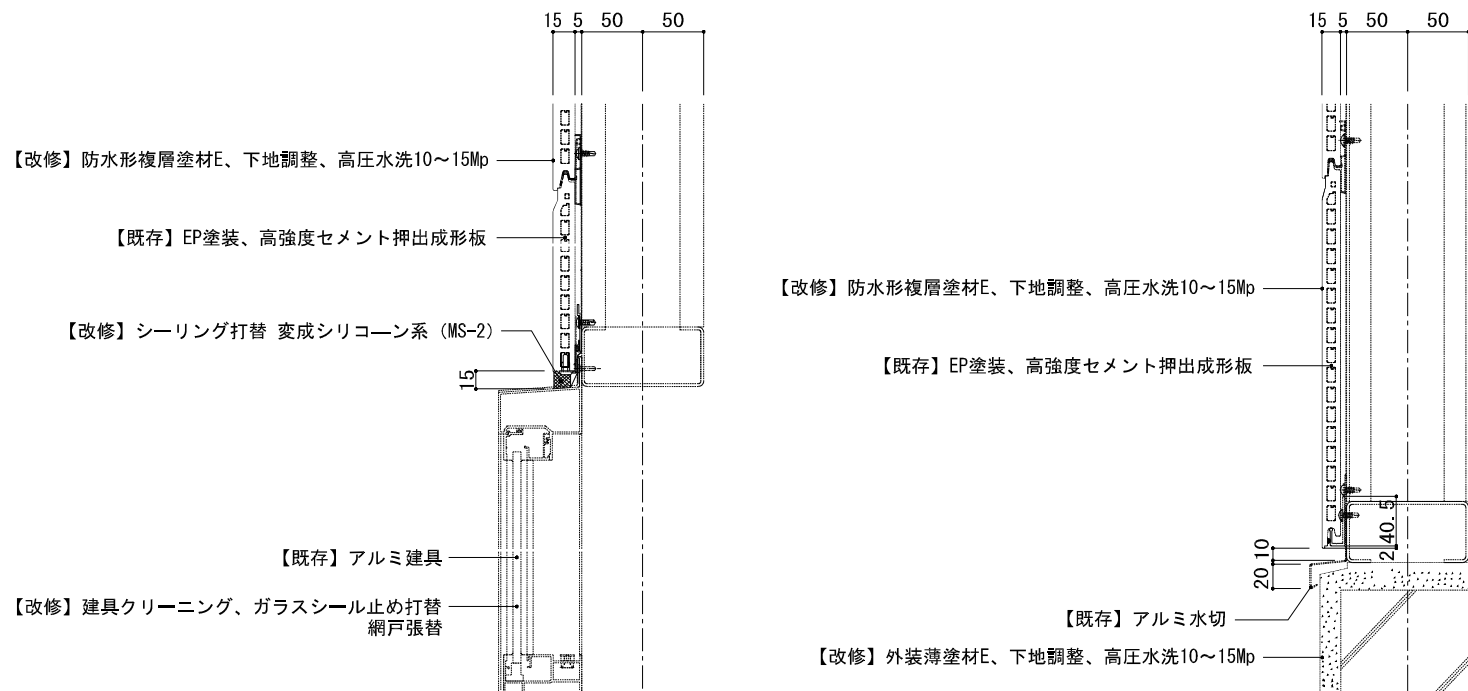
屋根改修 詳細図

縮尺

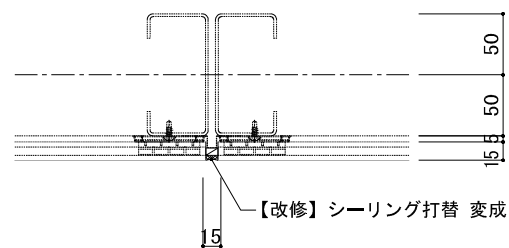
A1:1/5 A3:1/10

図面番号

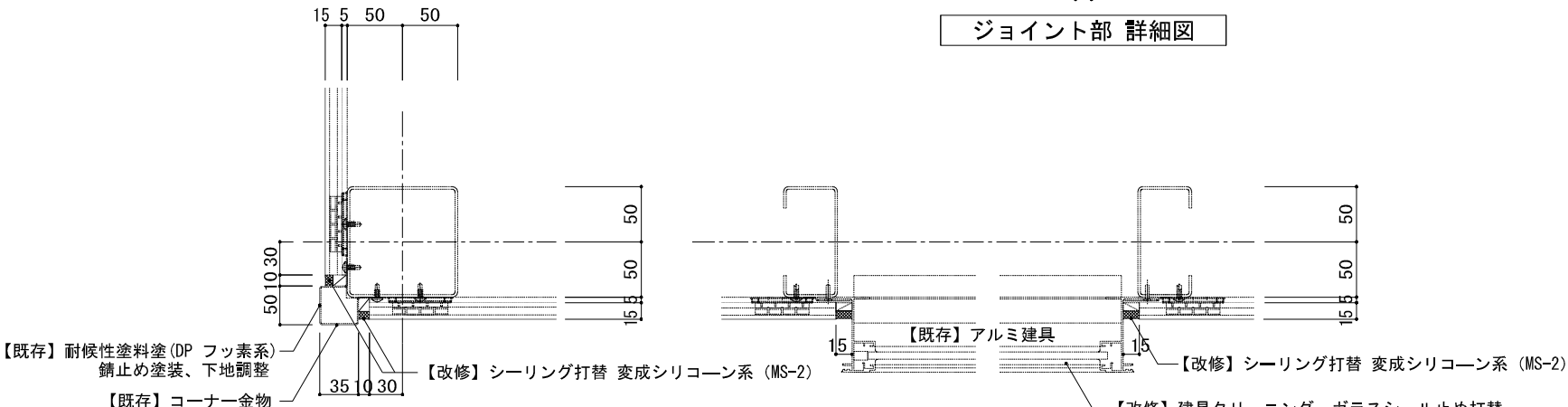
A - 17



基礎立上り断面 詳細図



ジョイント部 詳細図



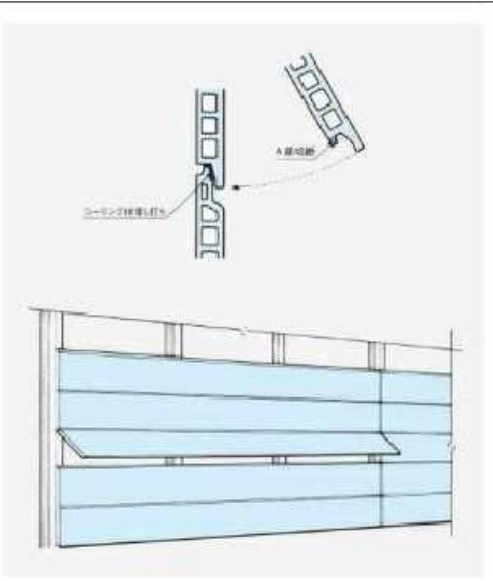
出隅部平面 詳細図

建具廻り平面 詳細図

押出し成形セメント板張替 要領書

- ①ヨコ張り
  - a. 取替えるラムダの中央部にパネルの長手方向にディスクグラインダーで切り込みを入れ取除いてください。
  - b. 取付けるラムダのメス突 (Aの斜線部) を切断してください。
  - c. 切断面は専用のシーラーを塗布してください。
  - d. 取付けるラムダの下部のラムダのオス突先端部にシーリング材を増し打ちしてください。
  - e. 取付けるラムダのオス突を、上部のラムダのメス突に押し込み下図のように合せてください。
  - f. ステンレスシーリングビスを使用し、胴縁とパネルの間にゴムスペーサーを入れてビス止めしてください。
- ②タテ張り
 

ヨコ張りと同じ要領で取替えてください。上下方向の位置あわせのため下部にカイモノをしてください。



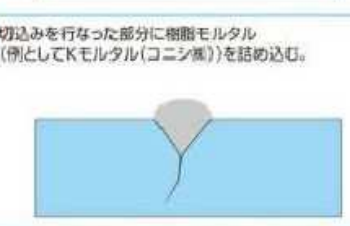


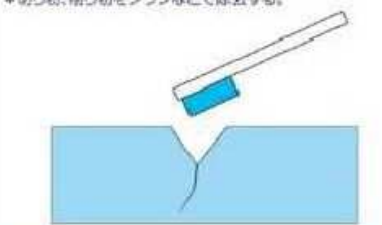


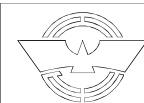
押出し成形セメント板補修 要領書

ラムダの損傷の程度により下表を参考に補修をおこなってください。

損傷の程度	補修方法
表層クラック	エポキシ系補修材にて補修
裏面に達するクラック	板の取替えまたはVカットして樹脂モルタル等で補修 ラムダの取替え要領はP64を参照してください。

クラック補修方法

- ① ヒビ割れ先端部に進展防止のため、小さな穴(φ3mm程度)を開け補修を行なうことでヒビ割れ現象の成長防止を行なう。  

- ② 切り込んだ部分の両サイドにマスキングを行い補修時の汚れ防止を行なう。  

- ③ 切り込んだ部分にプライマーを塗布する。  

- ④ 硬化後にサンドペーパーで削る。  
⑤ 細目のモリバテを塗り、乾燥したら#240のサンドペーパーで平滑に仕上げする。  

- ⑥ 補修塗料(下塗り)を塗る。  
⑦ 補修塗料(上塗り)を塗る。  

- ⑧ 切り込みを入れた塗装部分は鋭利になっているのでサンドペーパー等で削る。(＃180～240程度)  
\* 切り粉、掃き粉をブラシなどで除去する。  




ガラスブロック防水保護膜施工要領【参考メーカー (株) セブンケミカル：セブンS同等品とすること】

下地処理 ■ ガラスブロック面の前処理

- ① シーリング材の打ち替えをする。  
シール材表面の汚れや油分をシンナー等の溶剤で清掃し乾燥させておく。
- ② 伸縮目地やその他のシーリング材が劣化し、補修の必要な箇所は、打ち替えを行い、乾燥硬化させる。  
(シリコンシーリング材は、油分ブリードがあり塗料が付着し無いので使用しない事)  
セブンSによるガラスブロック及び、目地部への塗装一体化を図る為にポリイソブチレンでの打ち替えを行う。
- ③ ワックスや油脂等がガラス面やシール材に付着している場合は、シンナー拭き等により除去する。
- ④ かびや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り材、アルコール液で殺菌処理する。
- ⑤ 塵埃や付着物などの汚染物は、セブンエコクリーナー等を用い、汚れを除去した後、水洗い(10~15Mpa)を行う。
- ⑥ 水洗後のガラス面、目地モルタル部を十分に乾燥する。

塗膜塗布 ■ アクリルシリコン樹脂透明塗膜(セブンS)の施工

□ セブンS (S-T工法) の塗り工程

【主材塗付方法】 ①細目砂骨ローラー ②ウールローラー塗り

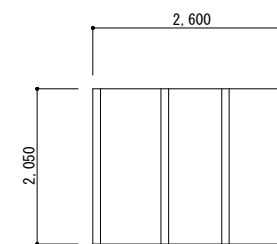
【施工か所】 ガラスブロック面、内外共全面(ガラスブロック端部シーリングまで)

工程	使用材料	希釈(重量%)	塗付け量(kg/m <sup>2</sup> )	工程時間(時間)	施工方法
1	下塗り(1~2回)	セブンSシーラー	無希釈 0.15 ~0.2	3以上 24以内	中毛ウールローラー
2	主材塗り(1)	セブンS	水 (0~3) 0.4 ~0.7	3以上 168以内	細目砂骨ローラー
3	主材塗り(2)	セブンS	水 (0~3) 0.2 ~0.3	16以上 168以内	中毛ウールローラー
4	上塗り(半艶、艶有)	セブンSトップM#30	無希釈 0.12 ~0.15	2以上 8以内	中毛ウールローラー
5	上塗り(半艶、艶有)	セブンSトップM#30	無希釈 0.12 ~0.15	24以上 (最終養生)	中毛ウールローラー

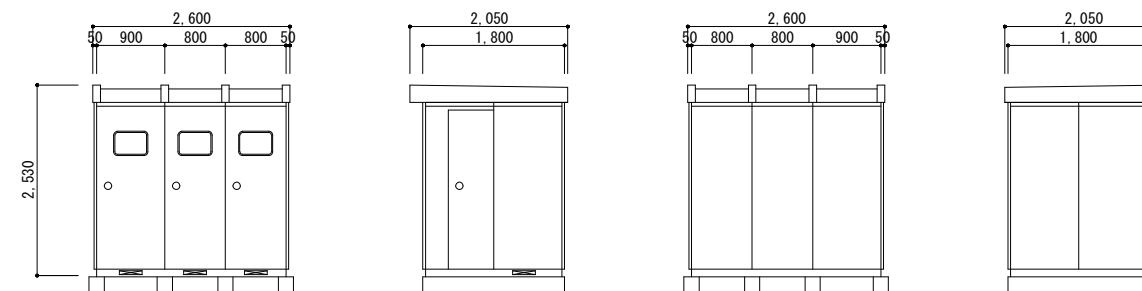
☆セブンSシーラー塗布後、目地モルタルの吸い込みの大きい部分は、乾燥後、再度増し塗りし、目地モルタルを均一に濡れ色にする事。

☆セブンS主材塗り2回で最低0.6kg/m<sup>2</sup>塗り切れない場合、塗りきるまで重ね塗りする事。

改修内容：耐候性塗料塗(DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整



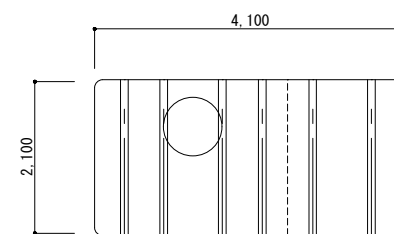
屋根伏せ図 1/50



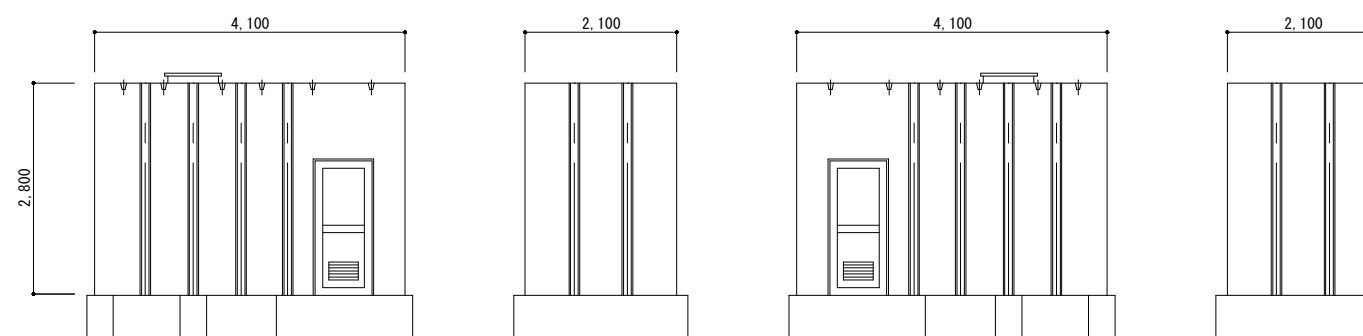
立面図 1/50

受水槽姿図

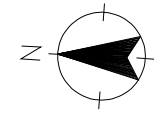
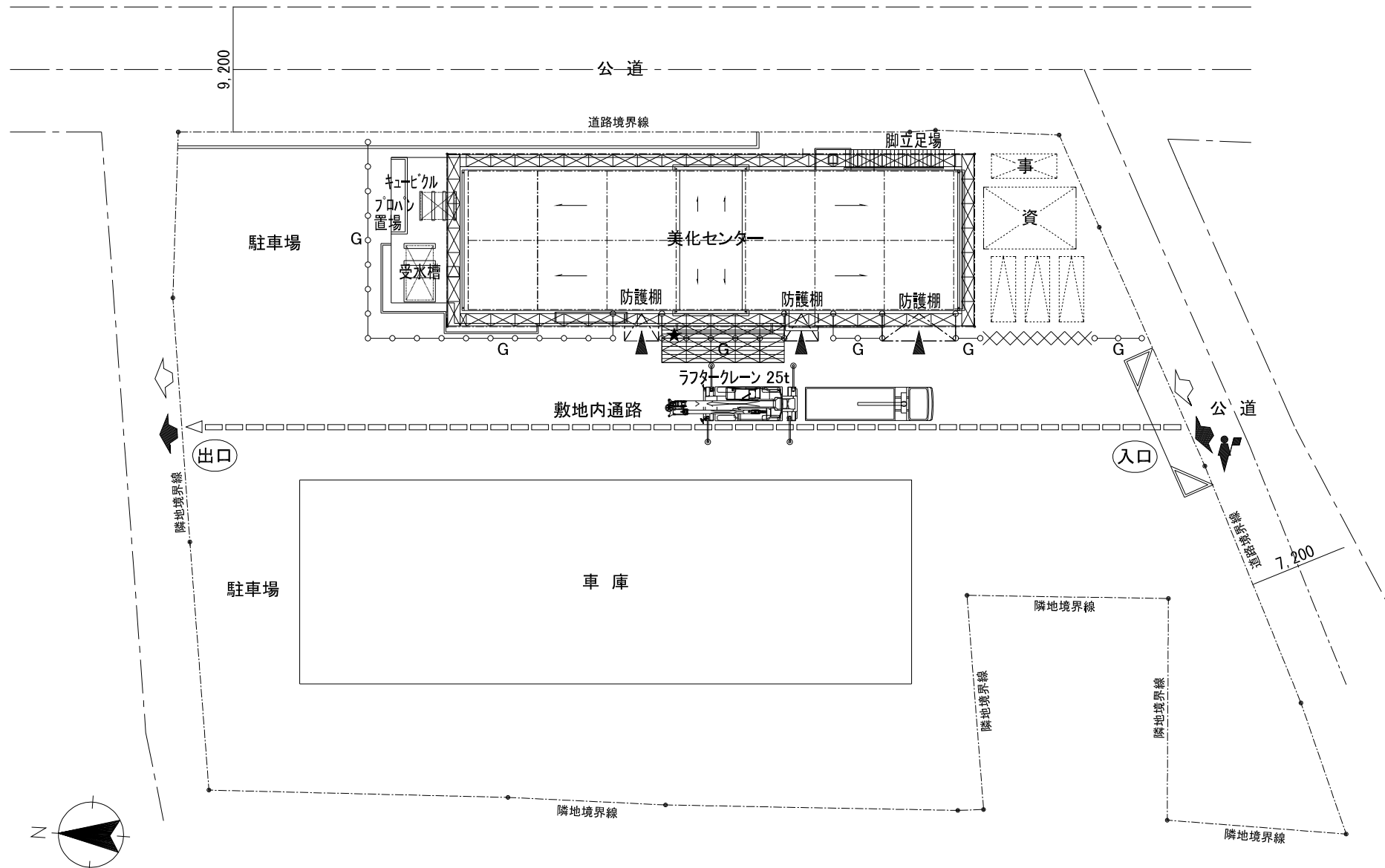
改修内容：超低汚染形ターベン可溶アクリルシリコン樹脂塗装、下地調整



屋根伏せ図 1/50

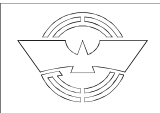


立面図 1/50



■ 仮設計画図凡例	
	施設関係 敷地出入り口
	工事関係 敷地出入り口
	施設関係 建物出入口
	工事車両搬入通路
	交通整理員
	手すり先行枠組本足場 (手すり据置型とする)W600・W900 ・安全手すり共 ・ネット状養生シート(防炎I類) ・扉鍵付共
	荷揚げ資材仮置きステージ足場 ★最上部電動ウインチ
	クロスゲート(W6,000×H1,800)
	ゲートフェンス H1,800
	資材置場(シート床養生共)
	現場事務所(設置可能場所)
	搬出入車両置場
<b>■ 特記事項</b> ・本図をもとに仮設図を作成し、施設管理者、監督員と協議のうえ着手すること。 ・敷地内の工事車両の通行は、一方通行とする。 ・敷地内通路に工事車両を停車し、資材の積み下ろしを行う場合は、施設の業務に支障をきたさない時間帯とする。	

工事件名:美化センター外装改修工事



海老名市

図面名称  
縮尺

仮設計画図(参考)  
A1:1/200 A3:1/400

図面番号

A-20